Victor
"HIS MASTER'S VOICE"

マルチビューワソフトウェア

型名 **VN-S400** **取扱説明書**



お買い上げいただき、ありがとうございます。
この「取扱説明書」は、本製品の操作方法を説明しています。
よくお読みになり、正しくお使い下さい。

LST0241-001B (V4.1)

＜ご注意＞

・この取扱説明書の一部または全部を複製することは固くお断りしております。
・この取扱説明書の内容は、予告なく変更されることがあります。
・ご使用にあたり、他人の著作権を侵害しないようにご留意願います。
・この取扱説明書に誤りがあっても、当社が責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。

＜商標について＞

・Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
・その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
なお、この取扱説明書では登録商標・商標・著作権を表示するマークを記載していません。

＜大切な映像を録画保存する前に＞

・テレビ放送や録画物などの再生画像あるいはポスターなどの出版物を撮影した映像を録画・保存したものは、個人的に楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
・大切な画像録画の場合は必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・表示されることを確かめてください。ハードディスクの空き容量にも注意してください。
・万一、本アプリケーションおよびコンピュータソフトウェア等の不具合により正常に録画・再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

＜VN-S200/S100(マルチカメラブラウザ)で作成したファイルについて＞

・VN-S200/S100 で録画した REC ファイルは、VN-S400 で再生することができます。
・VN-S200/S100 で作成したワークスペースは、VN-S400 では開くことができません。

目　次



1．はじめに

この取扱説明書では、VN-S400 の操作方法を説明しています。VN-S400 のインストールとアクティベーション設定については添付の「インストールマニュアル」をお読みください。動作環境、対応機種については添付の「マルチビューワソフトウェア VN-S400(Version4.1)について」、およびセットアップ CD-ROM に含まれている「インストールマニュアル補足版」(PDF ファイル)をお読みください。VN-S400 に関する最新情報については、当社のホームページをご覧下さい。（URL は添付のインストールマニュアルに記載しています。）

1-1．VN-S400 のおもな機能

1．マルチビューイング機能
・複数台の機器に同時に接続
・最大 16 台同時ビューイング

2．録画 / 再生機能
・表示されている接続機器の映像を保存 / 再生
・タイマー録画可能

3．スナップショット機能
・静止画を任意のフォルダに保存

4．アラーム処理機能
・接続機器からアラームを受信した場合の通知方法を設定

5．1 カメラコントロールと外部機器制御機能
・接続中のカメラのパン・チルト・ズーム操作
・VN-A1、DM-NC40 のシリアルポートに接続された機器を制御可能

1-2．VN-S400　旧バージョンとの違い

■ 旧バージョンで作成したワークスペースの利用について

旧バージョン(Ver.1 ～ Ver.3)で作成したワークスペースファイル（.vxw）は Ver.4.* で利用することができます。Ver.4.* でワークスペースを保存すると、旧バージョンで作成したワークスペースは Ver.4 の形式に変換されます。Ver.4 形式で作成・保存したワークスペースファイル（.vxw）は旧バージョンでは使用できません。

■ Ver.4 で追加された新機能

1.VN-C625 に対応しました。 (16 ページ 他)
・VN-C625 対応の専用カメラコントロール
ポジションメモリー(HOME を含む 30 ポジション)の選択、ポジション名表示
連続パン・チルト・ズーム動作
オートパン、オートパトロール、オートトレースの制御
ワンプッシュオートフォーカスボタン
２系統のアラーム出力ボタン
・VN-C625 Web ブラウザ設定画面の呼び出し

2．ディスクの空き容量不足時に古い録画ファイルを自動削除する機能で、削除を開始するディスクの空き容量設定が可能になりました。 (31 ページ)
この設定を変更すると、ディスクの使用率を制限することができます。また、削除を開始するディスクの空き容量の初期値が 200MB から 300MB に変更になりました。旧バージョンのディスクの空き容量不足時の設定で「以前の画像を削除」を選択している場合はご注意ください。

■ Ver.4.1 で追加された新機能

1.VN-C625 の 1fps 以下のフレームレートに対応しました。 (48 ページ)
2.DM-NC40 の JPEG サイズ 320x240 時の 10fps までのフレームレートに対応しました。 (45 ページ)
3.PC 録画ファイルリスト(21 ページ)とアラームリスト(55 ページ)が１日単位の表示となり、カレンダー選択などによる検索の使い勝手を改善しました。



2．VN-S400 の起動

2-1．用語解説

VN-S400 の操作に関する用語を説明します。

■ワークスペース■

VN-S400 では、接続機器の情報やさまざまな設定情報をワークスペース(*.vxw)というファイル単位で保存管理します。

■ビューウィンドウ■

接続機器(カメラやエンコーダ)からの映像を表示したり、保存されている映像ファイルを再生するためのウィンドウです。ワークスペースでは、複数のビューウィンドウを同時に表示させることができます。
特に、接続機器からの映像を表示するためのビューウィンドウを<u>ライブビューウィンドウ</u>、保存されている映像ファイルを再生するためのビューウィンドウを<u>再生ビューウィンドウ</u>と呼びます。
ビューウィンドウはそれぞれ表示サイズや位置などを設定することができます。

■ビューポイント■

ネットワークに接続された機器(カメラやエンコーダ)を総称してビューポイントと呼びます。
ビューポイントはそれぞれ重複しない 1 つの IP アドレスを持ちます。

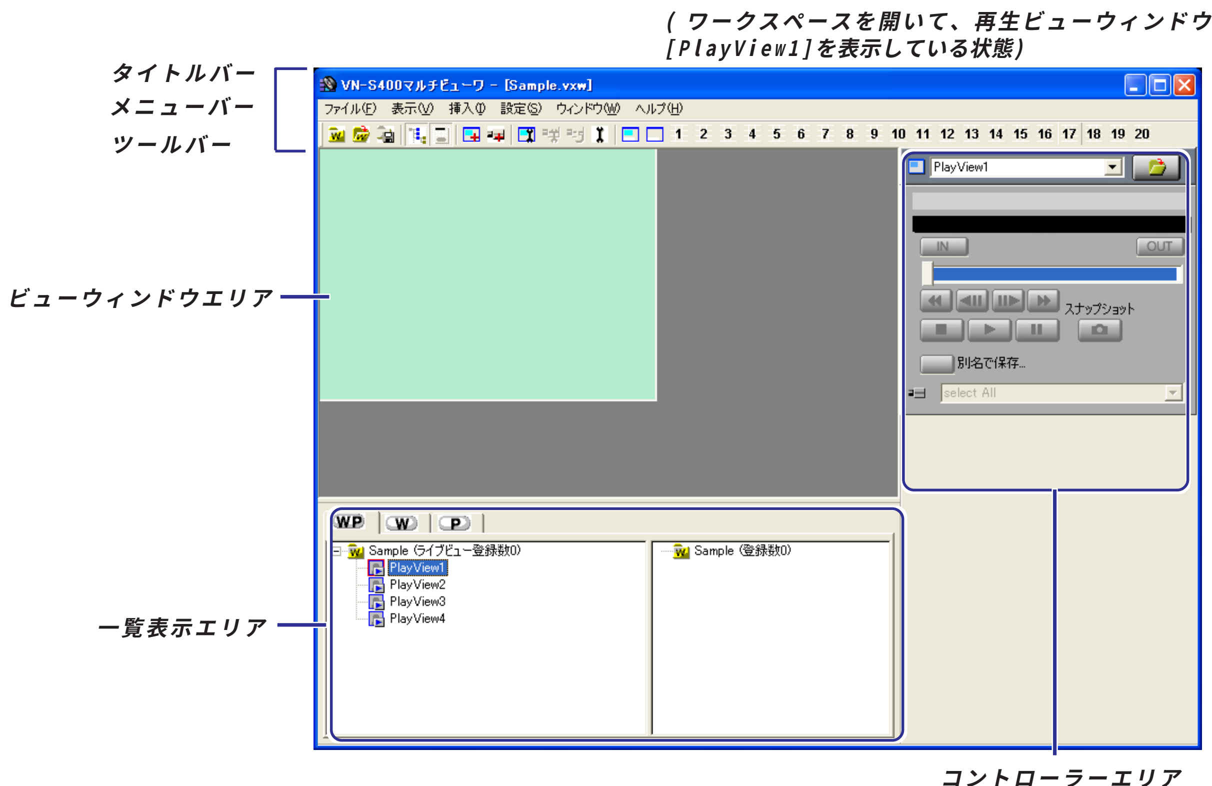
■ビューチャンネル■

ビューポイントの映像出力チャンネルをビューチャンネルと呼びます。ビューチャンネルからの映像がビューウィンドウに表示されます。通常は、1つのビューポイントは1つの映像出力チャンネルしか持たないので、1つのビューポイントに対してビューチャンネルは 1 つです。
ビューチャンネルには、JPEG ビューチャンネルと MPEG-4 ビューチャンネルがあり、JPEG ビューチャンネルの映像は複数のビューウィンドウで同時に見ることができます。
(DM-NC40 は MPEG-4 ビューチャンネルと JPEG ビューチャンネルの 2 つのビューチャンネルを持ち、同時に表示することが可能です。VN-C10 は MPEG-4 ビューチャンネルと JPEG ビューチャンネルの 2 つのビューチャンネルを持ちますが、本体の設定によりどちらか一方を表示することができます。尚、この取扱説明書では MPEG-4 ビューチャンネル・JPEG ビューチャンネルをそれぞれ MPEG-4 チャンネル・JPEG チャンネルと表記している場合があります。)

2-2. VN-S400 の起動

Windowsの[スタート]メニューから[(すべての)プログラム]を選択し、[JVC]フォルダ内にある[VN-S400]をクリックして起動します。(デスクトップの VN-S400 アイコンで起動することもできます。)

メインウィンドウが表示されます。起動直後はワークスペースが開かれていない状態であるため、メインウィンドウには何も表示されていません。



[タイトルバー]

開いているワークスペースのファイル名を表示します。

[メニューバー]

VN-S400 の操作に必要なメニューを表示します。

[ツールバー]

一部の機能をアイコン表示しています。ツールバーは、[表示]メニューの[ツールバー]をクリックして表示 / 非表示を切り替えることができます。

[ビューウィンドウエリア]

ビューウィンドウが表示されるエリアです。

[一覧表示エリア]

登録されたビューウィンドウやビューポイントなどをアイコン表示しています。一覧表示エリアは[表示]メニューの[一覧表示]をクリックして表示 / 非表示を切り替えることができます。

[コントローラーエリア]

映像、カメラ、外部機器を操作するためのコントローラーを表示するエリアです。コントローラーエリアは[表示]メニューの[コントローラー]をクリックして表示 / 非表示を切り替えることができます。



3．やってみよう

VN-S400の基本的な操作について説明します。

●ビューポイントに接続して映像を表示します●

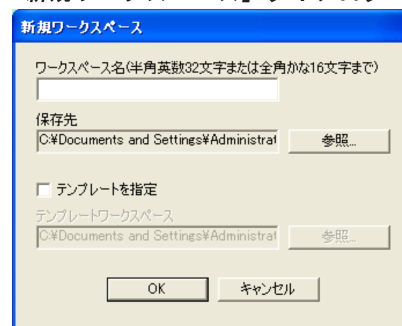
1 VN-S400を起動します。

Windowsの[スタート]メニューから[(すべての)プログラム]を選択し、[JVC]フォルダ内にある[VN-S400]をクリックして起動します。(デスクトップのVN-S400アイコンでも起動することができます。)

2 新しいワークスペースを作成します。

[ファイル]メニューの[新しいワークスペース]を選択します。「新規ワークスペース」ダイアログが表示されますので、新しいワークスペースの名前を入力して[OK]をクリックします。(ワークスペース名は、半角英数32文字または全角かな16文字までです。)

「新規ワークスペース」ダイアログ

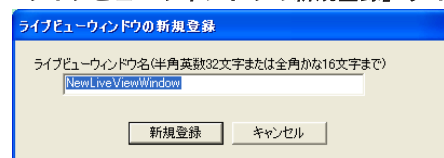


3 ライブビューウィンドウを登録します。

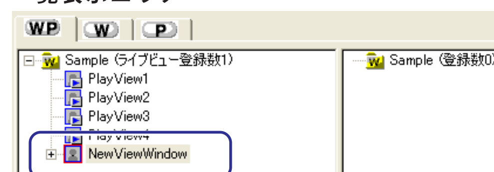
[挿入]メニューの[ライブビューウィンドウ]を選択します。「ライブビューウィンドウの新規登録」ダイアログが表示されますので、新しいライブビューウィンドウの名前を入力して[新規登録]をクリックします。(ライブビューウィンドウ名は、半角英数32文字または全角かな16文字までです。)

ライブビューウィンドウが表示されます。同時に、一覧表示エリアにライブビューウィンドウアイコンが1つ追加されます。

「ライブビューウィンドウの新規登録」ダイアログ



一覧表示エリア

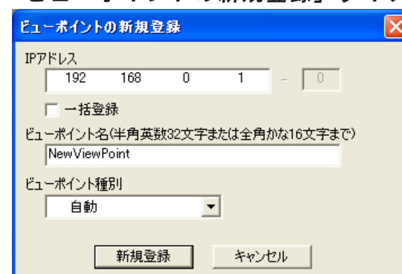


4 ビューポイントを登録します。

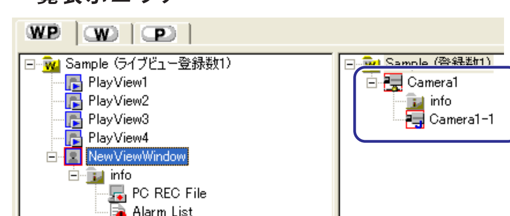
[挿入]メニューの[ビューポイント]を選択します。
「ビューポイントの新規登録」ダイアログが表示されます。
ビューポイントのIPアドレスと、ビューポイント名を入力します。(ビューポイント名は、半角英数32文字または全角かな16文字までです。)
ビューポイント種別では、通常[自動]を選択してください。
([未定]はビューポイントが未接続の場合に選択します。この場合、機種は次回ワークスペースの読み込み時に自動選択されます。)

すべてを入力したら、[新規登録]をクリックします。
一覧表示エリアのビューポイント表示部分にビューポイントアイコンとビューチャンネルアイコンが追加されます。

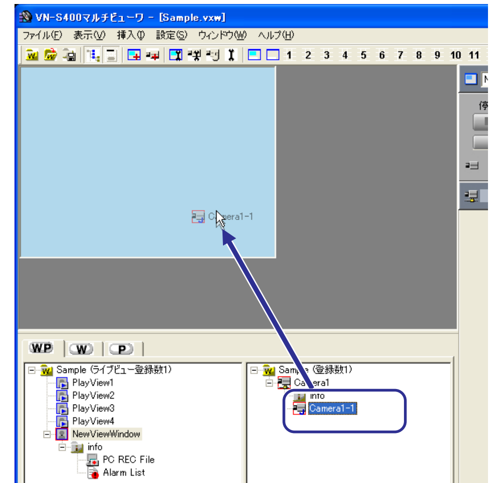
「ビューポイントの新規登録」ダイアログ



一覧表示エリア



5 映像を表示します。
一覧表示エリアのビューポイント表示部分にあるビューチャンネルアイコンまたはビューポイントアイコンをクリックして選択します。アイコンをライブビューウィンドウに直接ドラッグ＆ドロップすると、ビューチャンネルの映像が表示されます。

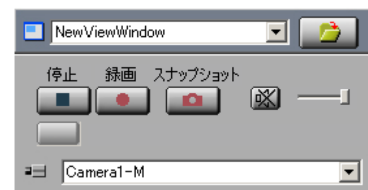


(アイコンをライブビューウィンドウにドラッグ＆ドロップ)

●ビューチャンネルの映像を録画します●

6 映像を録画します。
ライブコントローラーの[録画]ボタンをクリックすると、録画がスタートします。録画中のライブビューウィンドウには「REC」が表示されます。

ライブコントローラー

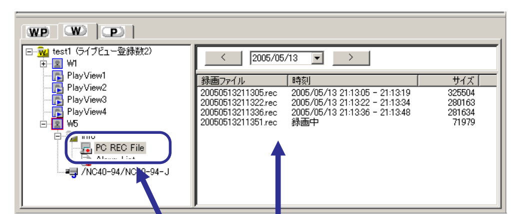


7 録画を停止します。
ライブビューコントローラーの[停止]ボタンをクリックすると、録画を停止します。

●録画した映像を再生します●

8 録画した映像ファイルの一覧を表示します。
一覧表示エリアのWタブをクリックします。
録画を行なったライブビューウィンドウアイコンの[+]をクリックし、さらにinfoアイコンの[+]をクリックして展開し、[PC REC File]アイコンをクリックします。一覧表示エリアの右側に録画した映像ファイルの名前が表示されます。(ビューポイントがDM-NC40の場合は、フォルダの一覧が表示されます。)
映像ファイルの名前は録画開始日時で自動的に決められます。

一覧表示エリア　(Wタブ)



映像ファイルの一覧

9 録画ファイルの映像を再生します。
リストに表示されたファイルをダブルクリックすると、再生ビューウィンドウで再生を開始します。

10 再生を停止します。
再生コントローラーの[停止]ボタンをクリックします。

VN-S400ではこれらの操作を行い、1つのワークスペースに複数のライブビューウィンドウを表示して、たくさんのビューポイントと接続し、そのビューチャンネルの映像を同時に表示することが可能です。
操作の詳細については、各説明を参照してください。



4．映像を見る(ライブ再生)

ここでは、ビューチャンネルの映像をライブビューウィンドウに表示させるまでの操作方法を説明します。

4-1．新しいワークスペースの作成

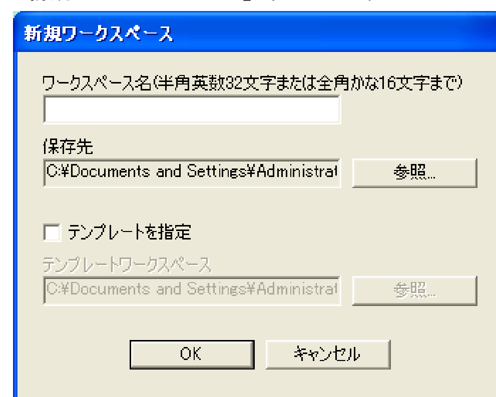
1 [ファイル]メニューの[新しいワークスペース]をクリックします。
新規ワークスペースを登録するダイアログが表示されます。

[ワークスペース名]
ワークスペース名(ファイル名)を入力します。
(ワークスペース名は、半角英数32文字または全角かな16文字までです。)

[保存先]
ワークスペースの保存場所を指定します。[参照]ボタンをクリックしてフォルダの参照ダイアログから場所を選択することができます。
保存先には、ローカルドライブを指定してください。ネットワークドライブを設定すると、正常に動作しないことがあります。

[テンプレートを指定]
すでに保存されているワークスペースの、ビューウィンドウ設定・ビューポイント設定をコピーして新しいワークスペースに反映させたい場合は、テンプレート機能を使うと便利です。このダイアログで[テンプレートを指定]にチェックマークを付け、元となるワークスペースを指定します。
([参照]ボタンをクリックしてファイルを開くダイアログから選択することもできます。)

「新規ワークスペース」ダイアログ



2 [OK]をクリックすると、新しいワークスペースが表示されます。

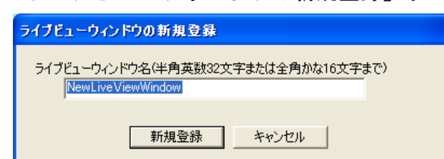
4-2．ライブビューウィンドウの登録

1 [挿入]メニューの[ライブビューウィンドウ]をクリックします。

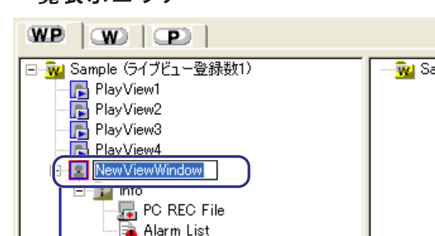
2 「ライブビューウィンドウの新規登録」ダイアログが表示されますので、名前を入力して[新規登録]をクリックします。
(ライブビューウィンドウ名は、半角英数32文字または全角かな16文字までです。)

ライブビューウィンドウが表示され、一覧表示エリアにライブビューウィンドウアイコンが1つ追加されます。
上記と同様の手順で、ライブビューウィンドウは合計16個まで登録することができます。

「ライブビューウィンドウの新規登録」ダイアログ



一覧表示エリア



ライブビューウィンドウの名前をクリックすると、名前を変更することができます。
(図のように下の階層が表示されていない場合は、アイコン左側の[+]をクリックして表示させることができます。)

4-3．ビューポイントの登録

1 [挿入]メニューの[ビューポイント]をクリックします。
ビューポイントの新規登録ダイアログが表示されます。

「ビューポイントの新規登録」ダイアログ

ビューポイントの新規登録
IPアドレス
192 168 0 1 - 0
一括登録
ビューポイント名(半角英数32文字または全角かな16文字まで)
NewViewPoint
ビューポイント種別
自動
新規登録 キャンセル

[IP アドレス]

ビューポイント(登録しようとしている接続機器)のIPアドレスを入力します。

[一括登録]

連続したIPアドレスを持つビューポイントを一括して登録できます。[一括登録]にチェックをして、[IPアドレス]部分に最初のIPアドレスと最後のIPアドレスを指定してください。

[ビューポイント名]

VN-S400でのビューポイントの名称を自由に決めることができます。(ビューポイント名は、半角英数32文字または全角かな16文字までです。)

[ビューポイント種別]

[自動]または[未定]を選択します。通常は[自動]を選択してください。[未定]はビューポイントが未接続の場合に選択します。この場合、機種は次回ワークスペースの読み込み時に自動選択されます。

一覧表示エリア



2 [新規登録]をクリックすると、ビューポイントが登録されます。一覧表示エリアのビューポイント表示部分に、ビューポイントアイコンとビューチャンネルアイコンが追加されます。

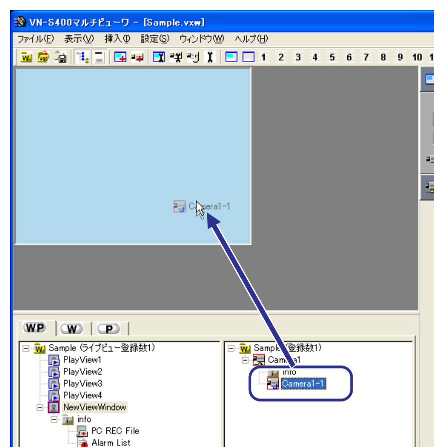
上記と同様の手順で、ビューポイントは合計256台まで登録することができます。

4-4．ビューポイントの映像を表示

ビューチャンネルの映像は、ライブビューウィンドウで表示されます。

■ビューチャンネルアイコンをドラッグ＆ドロップで表示■

一覧表示エリアの、表示したいビューポイントの下にあるビューポイントアイコンまたはビューチャンネルアイコンを選択して、ライブビューウィンドウ上に直接ドラッグ＆ドロップすると、映像が表示されます。
(ビューポイントがDM-NC40の場合は、ビューチャンネルアイコンをドラッグ＆ドロップしてください。)

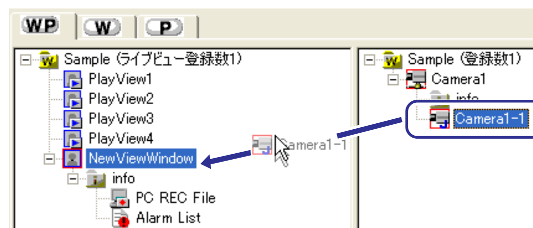


(アイコンをライブビューウィンドウにドラッグ＆ドロップ)

ビューポイントアイコンまたはビューチャンネルアイコンを、一覧表示エリアのライブビューウィンドウアイコンの場所にドラッグ＆ドロップしても、映像を表示することができます。

上記の手順で、ビューチャンネルは1つのライブビューウィンドウに合計16チャンネルまで登録することができます。

一覧表示エリア



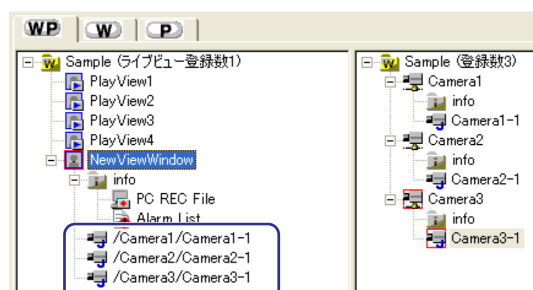
(ビューチャンネルアイコンをライブビューウィンドウアイコンにドラッグ＆ドロップ)

* 1つのライブビューウィンドウ内に同じビューチャンネルを重複して登録することはできません。
* 1つのライブビューウィンドウにJPEGチャンネルとMPEG-4チャンネルを混在して登録することはできません。
* 1つのライブビューウィンドウに2つ以上のMPEG-4チャンネルを登録することはできません。
* 1つのMPEG-4チャンネルを複数のライブビューウィンドウに登録することはできません。

■別のビューチャンネルの映像を表示■

登録されている別のビューチャンネルの映像を表示するには、シーケンシャル表示を停止し、ライブコントローラーのビューチャンネル選択で切り替えてください。(シーケンシャル表示が設定されている場合は、登録されているビューチャンネルを順番に切り替えて表示します。シーケンシャル表示については「13-3．シーケンシャル表示設定」を、ライブコントローラーについては「5-1．ライブコントローラーの操作」を参照してください。)

一覧表示エリア



1つのビューウィンドウに、3つのビューチャンネルが登録されている状態。

4-5．排他登録モード

排他登録モードは、１つのライブビューウィンドウに１つのビューチャンネルだけを登録して映像を表示するモードです。すでにビューチャンネルが登録されているライブビューウィンドウに別のビューチャンネルを登録すると、最初のビューチャンネルは削除されます。
排他登録モードを有効にするには、[設定]メニューの[排他登録モード]をクリックします。チェックマークが付いている状態が、排他登録モードが有効の状態です。
排他登録モードを解除する場合は、もう一度[設定]メニューの[排他登録モード]をクリックします。

[設定]メニュー

設定(S)　ウィンドウ(W)　ヘルプ(H)
ビューウィンドウ(V)...
ビューポイント(P)...
制御(C)...
すべてのビューの音をミックス(M)
優先更新モード(W)
オプション(O)...
✓ 排他登録モード(E)
プロテクトモード(R)

4-6．音声の出力

[設定]メニューの[すべてのビューの音をミックス]にチェックマークが付いている場合は、すべてのビューウィンドウの音声を出力します。この項目をクリックしてチェックマークを外すと、アクティブなビューウィンドウの音声のみを出力します。それぞれのビューウィンドウの出力音量などは、ライブコントローラーまたは再生コントローラーで行います。詳細については、「5-1．ライブコントローラーの操作」または「9-1．再生コントローラーの操作」を参照してください。

[設定]メニュー

設定(S)　ウィンドウ(W)　ヘルプ(H)
ビューウィンドウ(V)...
ビューポイント(P)...
制御(C)...
✓ すべてのビューの音をミックス(M)
優先更新モード(W)
オプション(O)...
排他登録モード(E)
プロテクトモード(R)

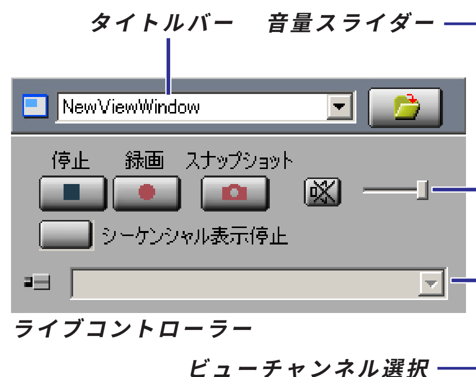


5．ライブ映像の操作

ここでは、コントローラーを用いて、接続中のビューポイントの機器を見たい状態に制御する方法を説明します。表示されるコントローラーは、接続しているビューポイントの機種によって種類が異なります。

5-1．ライブコントローラーの操作

ライブコントローラーは、操作したいライブビューウィンドウをクリックし、アクティブにすると表示されます。操作は、接続ビューポイントの機種にかかわらず、すべてのライブビューウィンドウに共通です。



[タイトルバー]
アクティブなビューウィンドウの名前を表示しています。ドロップダウンリストから別のビューウィンドウを選択して、切り替えることもできます。

[録画ファイルオープンボタン] 
「ファイルを開く」ダイアログを表示します。録画ファイルを開くと再生ビューウィンドウに表示されます。

[停止]
ライブ映像の録画を停止します。

[録画]
映像の録画を開始します。録画を終了する場合は、停止ボタンをクリックしてください。

[スナップショット]
映像を静止画で保存します。(スナップショットについては、「10．スナップショット」を参照してください。)

[消音ボタン]　**(音声入力がある場合に操作が可能です)**
クリックすると音声を出力しない設定になります。消音中はボタンが緑色になります。音声を出力するには、もう一度ボタンをクリックしてください。

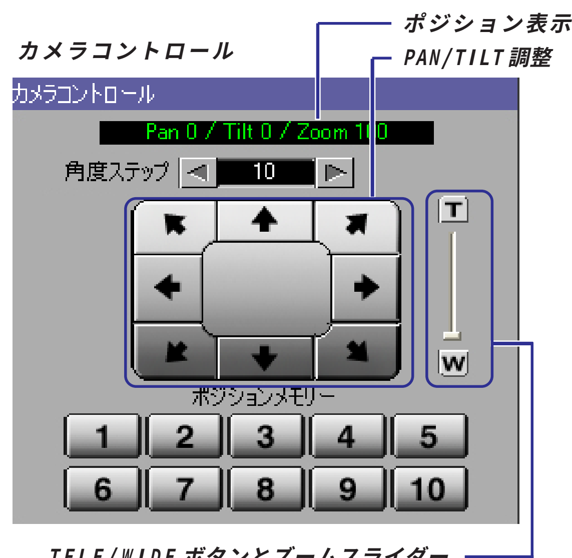
[音量スライダー]　**(音声入力がある場合に操作が可能です)**
スライダーのつまみを左にドラッグすると音量が小さく、右にドラッグすると大きくなります。

[シーケンシャル表示ボタン]
シーケンシャル表示を開始・停止します。(シーケンシャル表示については「13-3．シーケンシャル表示設定」を参照してください。)

[ビューチャンネル選択]
表示するビューチャンネルを選択して切り替えることができます。
(シーケンシャル表示停止中のみ有効)

5-2. VN-C2/C3/C30 用コントローラー

接続ビューポイントがこれらの機種である場合、ライブコントローラーの下にカメラコントロールが表示されます。



[ポジション表示]
現在のパン・チルトとズームを表示しています。

[PAN/TILT 調整]
各矢印ボタンでカメラのパン・チルトを操作します。1 クリックのパン・チルト動作は角度ステップで調整された値となります。

[角度ステップ]
1 クリックのパン・チルト動作角度を設定します。

[TELE/WIDE ボタン]
ズームイン・ズームアウトを操作します。
[T]をクリックするとズームインし、[W]をクリックするとズームアウトします。
(ビューポイントが VN-C2 の場合は使用できません。)

[ズームスライダー]
つまみをドラッグしてズームの調整ができます。
(ビューポイントが VN-C2 の場合は使用できません。)

[ポジションメモリー]
クリックすると、カメラの向きがあらかじめ登録されたポジションに移動します。
(ポジションメモリーの設定方法は次の「5-3. ポジションメモリーの設定」を参照してください。)

5-3. ポジションメモリーの設定

VN-C2/C3/C30 用コントローラーを使用して、パン・チルト・ズームの調整ポジションを登録する機能です。登録できるポジションは最大 10ヵ所です。(VN-C2 の場合は最大 6ヵ所です。)

1 カメラコントロールを調整して、登録させたいポジションにします。

2 ポジションメモリーボタン 1 ～ 10(VN-C2 の場合は 1 ～ 6)のうち、登録したい番号のボタンを右クリックして[Memory]をクリックすると、ポジションが登録されます。

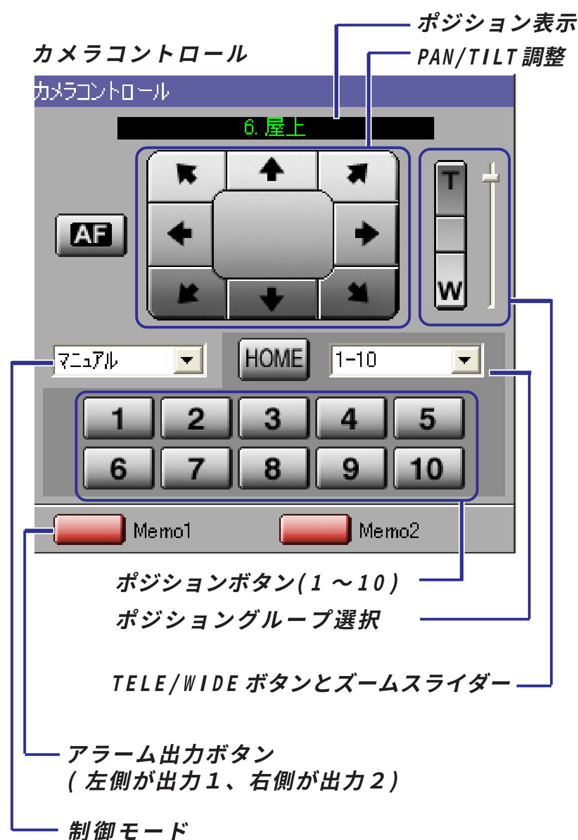


3 ポジションメモリーボタンをクリックすると、そのポジションメモリーに登録されたポジションにカメラの向きが移動し、映像がビューウィンドウに表示されます。

4 一度記録したポジションメモリーの設定を変更するには、カメラを新しいポジションに調整してから再度ボタンを右クリックして、[Memory]をクリックしてください。

5-4. VN-C625 用コントローラー

接続ビューポイントがVN-C625 の場合、ライブコントローラーの下にカメラコントロールが表示されます。



[ポジション表示]

現在のパン・チルト位置とズームの値を表示しています。ポジションメモリーに登録されているポジションと一致する場合は、(ポジション番号).(ポジション名)のように表示します。

＊ VN-C625 本体のポジション名には半角32 文字まで設定できますが、20 文字以上設定すると、すべての文字が表示されないことがあります。

[PAN/TILT 調整]

各矢印ボタンでカメラのパン・チルトを操作します。
ボタン上で右クリックするとメニューが表示され、パン・チルト調整に関する設定ができます。

[ステップ1 ～30]	1 クリックのパン・チルト動作角度を設定します。[ステップ1](約1 度)～[ステップ30](約30 度)の値から選択してください。
[連続1 ～8]	矢印ボタンを押し続けたときに、カメラの向きが同じ方向に移動し続ける設定です。[連続1]では最もゆっくりな速度で移動し、[連続8]では最も速い速度で移動します。
[連続Variable]	ズームイン・ズームアウトの度合いによって、連続移動の速度を自動調整する設定です。

[AF](ワンプッシュオートフォーカスボタン)

クリックすると、フォーカスを自動調整します。

[TELE/WIDE ボタン]

ズームイン・ズームアウトを操作します。
[T]をクリックするとズームインし、[W]をクリックするとズームアウトします。
ボタン上で右クリックするとメニューが表示され、ズームイン・ズームアウトに関する設定ができます。

[ステップ1 ～10]	1 クリックの動作ステップを設定します。[ステップ1]～[ステップ10]の値から選択してください。大きい値のほうが大幅なズームを行います。
[連続1 ～8]	TボタンまたはWボタンを押し続けたときに、ズームし続ける設定です。[連続1]では最もゆっくりな速度でズームし、[連続8]では最も速い速度でズームします。

[ズームスライダー]

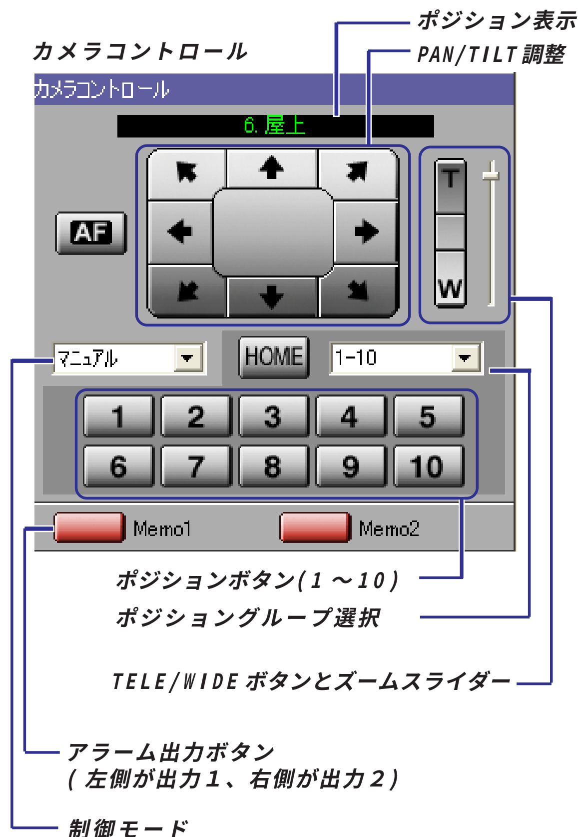
つまみをドラッグしてズームの調整ができます。

(次のページに続きます)

[制御モード]
カメラの現在の制御モードを表示しています。クリックしてリストから制御モード選択すると制御モードを切り替えることができます。

[マニュアル]　クリックによる調整(手動) でカメラを制御するモードです。
[オートパン]　設定されたポジションから水平方向に移動します。移動の方向や速さはVN-C625 の設定に従います。
[オートパトロール] 設定された複数のポジションを交互に表示します。ポジションの順番や時間はVN-C625 の設定に従います。
[オートトレース] VN-C625 に記憶されている、手動による操作内容を再現します。

* [設定中] と表示されている場合は、VN-C625 本体でオートトレースの設定を行なっている最中です。
* オートパン、オートパトロール、オートトレースの動作を止めるときは[マニュアル] を選択してください。
* オートパン、オートパトロール、オートトレースはVN-C625 本体の設定が必要です。詳細についてはVN-C625 の取扱説明書を参照してください。



[HOME]
クリックすると、カメラの向きがVN-C625 で設定されているHOME ポジションに移動します。

[ポジショングループ選択とポジションボタン]
[1]から[10]のポジションボタンをクリックすると、カメラの向きがVN-C625 であらかじめ設定されているポジションに移動します。VN-C625 では最大29 個のポジションを設定することができます。ポジショングループ選択を変更することによって、各ポジションボタンが示すポジションを次のように切り替えることができます。

ポジショングループ	ポジションボタン[1] から[10] の対応
[1-10] を選択	ポジション1 からポジション10 までに対応
[11-20] を選択	ポジション11 からポジション20 までに対応
[21-29] を選択	ポジション21 からポジション29 までに対応

(例えば、ポジショングループ選択で[11-20] を選び、ポジションボタン[2] をクリックすると、12 番のポジションを表示することになります。)

マウスカーソルを各ボタン上に置くと、VN-C625 に登録されているポジション名が表示されます。(ポジションが登録されていない場合は「－」と表示され、クリックしても移動しません。)

ポジションボタンまたはHOME ボタン上で右クリックすると、ポジショングループとポジション名の一覧が表示されます。ここからポジション名を選択すると、カメラの向きがそのポジションに直接移動します。

[アラーム出力ボタン]
ビューポイント制御ダイアログの[アラーム出力] タブで、「カメラコントロールに表示する」にチェックマークが付いている場合に限り表示されます。ボタンの右側には[出力] タブで設定したメモの内容も表示されます。
ボタンをクリックするとカメラ側のアラーム出力設定に従ってアラーム信号が出力されます。実際にアラーム出力端子から信号が出力されますので、十分な配慮のもとに実行してください。

ビューポイント制御ダイアログについては「15-7. ビューポイント(V.NETWORKS) の画質設定」を参照してください。

5-5. 外部機器コントローラー

ビューポイントがVN-A1またはDM-NC40の場合、ビューポイントに接続されている機器をVN-S400の外部機器コントローラーで制御することができます。

外部機器コントローラーを使うためには、「外部機器コントローラパック」をインストールする必要があります。専用ホームページ(http://www.victor.jp/pro/vnetworks/)にアクセスして、ダウンロードコーナーから外部機器コントローラパック(VN-SE400)をダウンロードしてください。ダウンロードしたプログラムを実行すると、外部機器コントローラパックのインストールが開始されます。

インストールが完了したら、「15-8. 外部機器設定」の手順に従って、制御したい機器を選択します。ライブコントローラーの下に表示される外部機器コントローラーを使用して、ビューポイントに接続されている機器を制御することができます。(表示される外部機器コントローラーは、接続機器によって種類が違います。)

なお、外部機器コントローラーで接続機器を制御する場合には、接続機器の管理者権限が必要です。



6．ビューチャンネルの映像を録画する

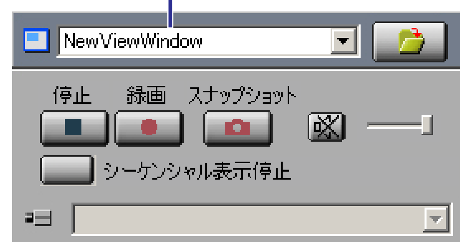
6-1．ライブコントローラーを使用して録画

■現在表示中のビューウィンドウの映像をPCに保存することができます。
■録画はビューウィンドウ単位で行われ、録画ファイルは、
[設定]メニューの[ビューウィンドウ]で「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログを表示させ、
[録画]タブの[保存先]に表示されているフォルダに保存されます。デフォルトでは、
ワークスペースを作成したフォルダ\(ワークスペース名)\(ビューウィンドウ名)のフォルダです。
(例) C:\Document and Setting\Administrator\SampleWorkspace\ViewWindow1 フォルダ
■録画を終了すると、***.rec(JPEGチャンネルの場合)または***.asf(MPEG-4チャンネルの場合)というファイルがディスクに作成されます。
*** 部分は、録画開始時刻のy年m月d日h時m分s秒をyyyymmddhhmmssの14桁の数字で表現します。
■録画ファイルは、録画開始から１時間単位で自動的に分割して作成されます。

1 現在表示されているビューウィンドウのうち、録画したいビューウィンドウをクリックしてアクティブにします。

2 ライブコントローラーのタイトルバーが、録画したいビューウィンドウになっていることを確認し、[録画]ボタンをクリックします。
(コントローラーエリアが画面上に無いときは、[表示]メニューの[コントローラー]をクリックして、コントローラーエリアを表示させてください。)

タイトルバー



ライブコントローラー

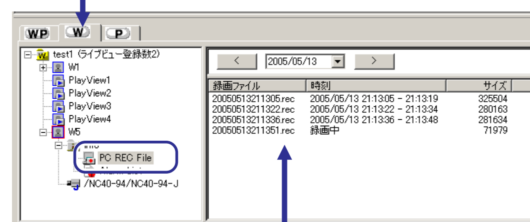
3 録画を開始します。

4 録画を停止するには、[停止]ボタンをクリックしてください。

6-2．録画したファイルを削除する

録画ファイルは“(録画開始時刻).rec”または“(録画開始時刻).asf”というファイル名で保存されています。
録画ファイルを削除したいときは、一覧表示エリアのWタブをクリックして表示し、録画を行なったライブビューウィンドウの下にある、[PC REC File]アイコンをクリックします。一覧表示エリアの右側に録画した映像ファイルのリストが表示されますので、削除したいファイルを選択し、[Delete]キーを押して削除します。

一覧表示エリア　(Wタブ)



映像ファイルのリスト

＜注意＞
一度削除された録画ファイルは修復できません。削除する前に録画されている内容を必ず確認してください。大切な録画ファイルを削除してしまった場合でも、責任は負いかねますので、ご了承ください。



7．タイマー録画

タイマー録画とは、あらかじめ設定した時刻になると自動的に録画を開始・終了する機能です。

1 タイマー録画を設定したいライブビューウィンドウをクリックしてアクティブにします。

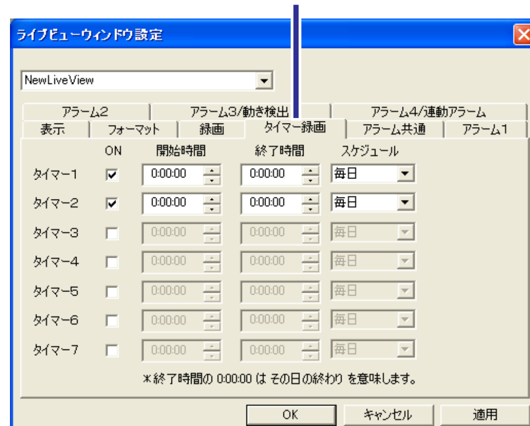
2 [設定]メニューの[ビューウィンドウ]を選択して、「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログを表示します。

3 タイマー録画したいライブビューウィンドウ名をリストから選択して、[タイマー録画]タブをクリックします。

4 設定したいタイマー番号(1～7)のチェックボックスをクリックしてONの状態にすると、時間の設定が可能になります。

録画の開始時間・終了時間を24時間表示で設定します。
(終了時間の0:00:00は、その日の終了までを意味します。日をまたがった設定はできません。)
スケジュール[毎日]または[毎週日曜]～[毎週土曜]を指定します。

5 [OK]をクリックして、ライブビューウィンドウ設定ダイアログを閉じます。



「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログ

＜注意＞

タイマー録画を実行するには、録画開始時刻にVN-S400が起動している必要があります。



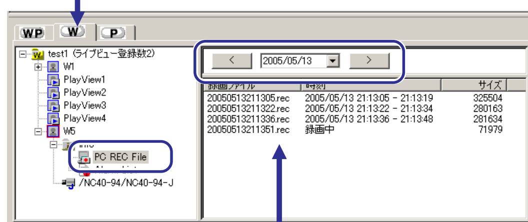
8．録画した内容を再生する

VN-S400 では、ビューチャンネルの映像を録画した映像ファイルや、ビューポイントのメモリー(CF カードなど)に保存されている映像ファイルをビューウィンドウで再生することができます。
再生映像は、ワークスペースにあらかじめ設定されている再生ビューウィンドウに表示されます。
(再生ビューウィンドウはワークスペースに[PlayView1]～[PlayView4]の 4 つのビューウィンドウがあらかじめ登録されています。5 つ以上登録したり、削除したりすることはできません。)

8-1．PC 録画ファイルの再生

ビューチャンネルの映像を PC に録画したファイルを再生します。

一覧表示エリア　(Wタブ)



再生したいファイルをダブルクリック

1 一覧表示エリアのWタブをクリックします。

2 映像を録画したライブビューウィンドウの下にある、[PC REC File]アイコンをクリックします。

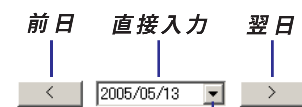
3 一覧表示エリアの右側に、このライブビューウィンドウで録画された映像ファイルの 1 日分のリストが表示されます。表示する日付は次の方法で変更できます。

■ 直接入力
日付表示部分に直接入力します。カレンダー選択日付の右にある下矢印ボタンをクリックすると、カレンダーが表示されます。表示したい日付をクリックします。

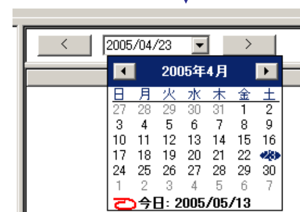
■ 前日
左矢印ボタンをクリックすると前日のリストを表示します。前日に録画ファイルがなければ、録画ファイルのある日付まで検索します。最大 1 年検索したところで停止します。

■ 翌日
右矢印ボタンをクリックすると翌日のリストを表示します。翌日に録画ファイルがなければ、録画ファイルのある日付まで検索します。最大 1 年検索したところで停止します。

録画ファイルリストには、ファイル名・記録開始終了時刻・ファイルサイズ(Byte)が表示されます。



カレンダー選択



録画されたファイルがＡＳＦ ファイルの場合は、「時刻」の情報に * 印が表示されます。
[例]　*2003/04/13　20:29:23　-　*20:29:53

表示指定した日に録画されたファイルが１０００ 個を超える場合は、次のように表示されます。
・アラーム情報がある場合でも、黒文字で表示されます。
・「時刻」の情報に * 印が表示され、録画終了時刻は表示されません。
　[例]　*2003/04/13　20:29:23

「時刻」の情報に * 印が表示されている場合は、ファイルのタイムスタンプ情報を表示していますので、実際の録画時刻とは異なる場合があります。

4 録画ファイルリストは、表示項目部分をクリックするとその項目で並べ替えることができます。ファイル数が多い場合は、並べ替え処理の間、VN-S400 での録画開始や停止の処理が遅れることがありますので、ご注意ください。

5 再生したいファイルをダブルクリックすると、1 番目の再生ビューウィンドウ(PlayView1)で再生を開始します。

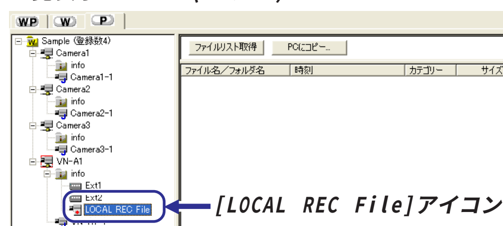
(ファイルを再生ビューウィンドウに直接ドラッグ＆ドロップしたり、一覧表示エリアの左側にある再生ビューウィンドウアイコン上にドラッグ＆ドロップしても、再生できます。)

8-2．ローカル録画ファイルの再生

ビューポイントのローカルメモリー(CF カードなど)に保存されている映像ファイルを VN-S400 で再生します。
この機能は、ビューポイントが VN-C10(JPEG チャンネル)、VN-C625、CF カードを装着した VN-A1、または DM-NC40 のときに利用できます。

1 一覧表示エリアの P タブをクリックします。
(LOCAL REC File アイコンをダブルクリックしても、P タブ表示に切り替わります。)

一覧表示エリア (Pタブ)

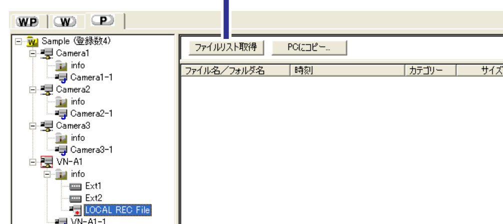


[LOCAL REC File]アイコン

2 映像ファイルが保存されているビューポイントの下にある、[LOCAL REC File]アイコンをクリックします。

3 [ファイルリスト取得]ボタンをクリックします。

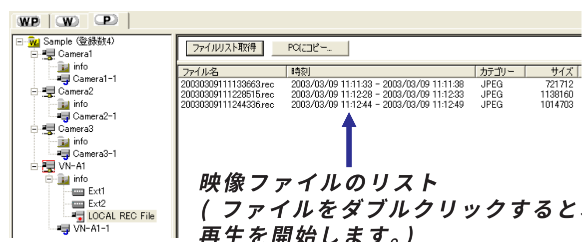
[ファイルリスト取得]ボタン



4 ビューポイントに保存されている映像ファイルが右側にリスト表示されます。

ローカル録画ファイルリストは表示項目部分をクリックするとその項目で並べ替えることができます。ファイル数が多い場合は、並べ替え処理の間、VN-S400 での録画開始や停止の処理が遅れることがありますので、ご注意ください。

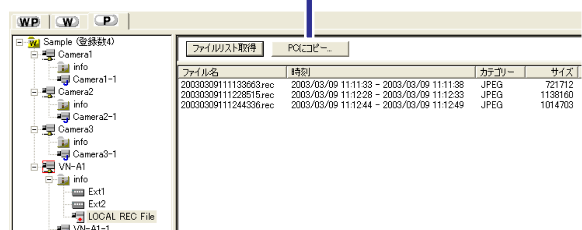
5 再生したいファイルをダブルクリックすると、1 番目の再生ビューウィンドウ(PlayView1)で再生を開始します。
(ファイルを再生ビューウィンドウに直接ドラッグ＆ドロップしても再生できます。)



映像ファイルのリスト
(ファイルをダブルクリックすると、再生を開始します。)

6 ローカル録画ファイルを PC にコピーしておきたい場合は、ファイルを選択して[PC にコピー]ボタンをクリックします。

[PC にコピー]ボタン



7 「ファイル転送」ダイアログが表示されますので、ファイル形式を保存先を設定して[OK]をクリックします。

「ファイル転送」ダイアログ





9．再生映像の操作

ここでは、コントローラーを用いて、再生中の映像を操作する方法を説明します。

9-1．再生コントローラーの操作

再生コントローラーは、操作したい再生ビューウィンドウをクリックし、アクティブにすると表示されます。



[タイトルバー]
アクティブな再生ビューウィンドウの名前を表示しています。リストから別のビューウィンドウを選択して、切り替えることもできます。

[録画ファイルオープンボタン] 
「ファイルを開く」ダイアログを表示します。録画ファイルを開くと再生ビューウィンドウに表示されます。

[ファイル名表示]
再生中のファイル名を表示します。

[タイムコード表示]
左から、開始フレーム・再生中フレーム・終了フレームの順でタイムコードを表示します。

[IN 点ボタン]（REC ファイルのみ）
切り出し保存の際のIN点を決定します。(切り出し保存については、「9-2. ファイルの別名保存」を参照してください。)

[OUT 点ボタン]（REC ファイルのみ）
切り出し保存の際の OUT 点を決定します。(切り出し保存については、「9-2. ファイルの別名保存(REC ファイルのみ対応)」を参照してください。)

[再生ポジションスライダー]
再生ポジションを表示します。スライダー上をクリックするごとにポジションが移動します。また、つまみをドラッグするとシークが可能です。


[早戻し]
映像を戻します。早戻し中にクリックすると、戻す速度が速くなります。もう一度クリックすると、通常の早戻しの速度になります。


[早送り]
映像を送ります。早送り中にクリックすると、送る速度が速くなります。もう一度クリックすると、通常の早送りの速度になります。


[コマ戻し]
REC ファイルのとき：映像を 1 コマ戻します。
ASF ファイルのとき：映像を 30 ミリ秒戻します。


[コマ送り]
REC ファイルのとき：映像を 1 コマ送ります。
ASF ファイルのとき：映像を 30 ミリ秒送ります。

[消音ボタン]
(音声付きの ASF ファイルの場合のみ表示されます。)
クリックすると音声を出力しない設定になります。消音中はボタンが緑色になります。音声を出力するには、もう一度ボタンをクリックしてください。

[音量スライダー]
(音声付きの ASF ファイルの場合のみ表示されます。)
スライダーのつまみを左にドラッグすると音量が小さく、右にドラッグすると大きくなります。


[停止]　再生を停止します。


[再生]　再生を開始します。


[一時停止]　再生を一時停止します。

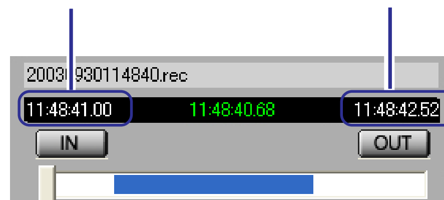

[スナップショット]
映像を静止画で保存します。(スナップショットについては、「10. スナップショット」を参照してください。)

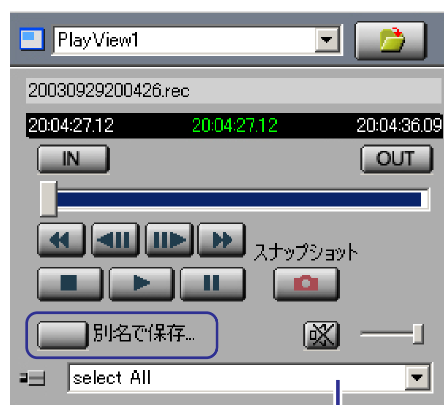
[別名で保存]（REC ファイルのみ）
再生中のRECファイルを別ファイルとして保存します。IN 点・OUT 点が指定されている場合は、指定された部分を切り出して別ファイルとして保存します。

[ビューチャンネル選択]
シーケンシャル表示中に録画されたファイルを再生する際に、1 つのビューチャンネルの録画映像だけを表示する場合は、表示したいビューチャンネルを選択します。すべてのビューチャンネルの録画映像を表示する場合には、[select All]を選択します。

9-2．ファイルの別名保存(REC ファイルのみ対応)

再生中REC ファイルを、別ファイルとして保存することができます。別名保存する際、切り出しを開始するポイント（IN 点）と終了するポイント（OUT 点）を指定すると、再生中REC ファイルの映像の一部を切り出して保存することもできます。
MPEG-4 チャンネルを録画した場合に作成される、ASF ファイル（*.asf）の別名保存はできません。





1 別名保存したいREC ファイルを再生します。

2 映像を確認しながら、[IN]をクリックします。
IN 点が設定されます。

3 映像を確認しながら、[OUT]をクリックします。
OUT 点が設定されます。

4 設定したIN 点・OUT 点を修正するには、別のポイントで[IN]または[OUT]をクリックし直してください。
[コマ戻し]や[コマ送り]ボタン、再生ポジションスライダーを利用して、映像を確認すると便利です。
IN 点・OUT 点のタイムコードは、タイムコード表示部分に表示されます。IN 点・OUT 点を、それぞれREC ファイルの先頭・末尾に設定すると、切り出しせずに別名保存します。

5 [別名で保存]ボタンをクリックします。

6 名前を付けて保存ダイアログが表示されますので、ファイル名と保存場所を指定します。ファイルの種類はREC ファイル(*.rec)、またはAVI ファイル（*.avi）から選択してください。ただしAVI ファイルは、VN-S400 では再生できません。
[保存]をクリックして、ファイルを保存します。

* カメラを上下反転のモードで使用している場合、AVI ファイルでは反転映像になります。
* 再生中のREC ファイル内でフレームレートの変動がある場合でも、各フレームの間隔は均等に再生されます。
* シーケンシャル表示の録画ファイルで、IN 点・OUT 点の間に異なる種類のカメラからの映像が混在している場合は、AVI ファイル保存できないことがあります。その場合は「ビューチャンネル選択」で1 つのビューチャンネルを選択したあと、AVI ファイル保存を行なってください。
* 保存したAVI ファイルを再生するには、Windows Media Player などの他の画像ビューワーを使用してください。



10．スナップショット

現在表示されているビューウィンドウの映像を静止画ファイルとして保存することができます。
静止画は、JPEG チャンネルの映像の場合は JPEG ファイル(*.jpg)または BMP ファイル(*.bmp)を選択して保存することができます。MPEG-4 チャンネルの映像の場合は BMP ファイル(*.bmp)で保存されます。
スナップショットは、最大 16 枚同時に表示することが可能です。

1 スナップショットを撮りたい映像が表示されているビューウィンドウをクリックしてアクティブにします。

2 コントローラーの[スナップショット]ボタンをクリックします。

3 別のウィンドウ(SnapShot ウィンドウ)に、静止画が表示されます。表示されている静止画は、SnapShot ウィンドウの[表示]メニューから[オリジナルサイズ]を選択して、拡大表示することができます。(オリジナルサイズが 160x120 の場合は拡大されません。)

同様の手順で、16 枚のスナップショットを同時に表示することができます。

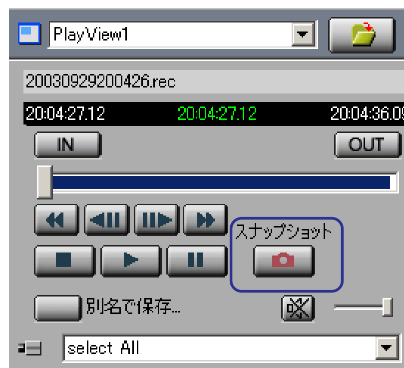
4 SnapShot ウィンドウの[ファイル]メニューの[名前を付けて保存]をクリックします。

5 名前を付けて保存ダイアログが表示されますので、保存場所とファイル名を指定して[保存]をクリックしてください。

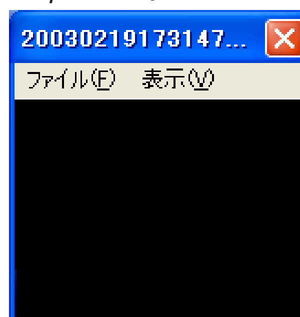
JPEG で保存した場合は、次の点に注意してください。
＊ビューポイントが上下反転設定されている場合、上下反転した画像となります。
＊VN-C30 の場合、縦長の画像となります。

スナップショットを保存せずに閉じる場合は、SnapShot ウィンドウの右上[X]をクリックしてください。

再生コントローラー



SnapShot ウィンドウ



＜注意＞
＊ 保存したスナップショットファイルは、VN-S400 では表示できません。他のビューワーを使用してください。
＊ ライブビューウィンドウが非表示の状態では、スナップショットボタンをクリックした時点の映像ではなく、ライブビューウィンドウで最後に表示した映像がスナップショットとして表示されます。現在の映像を表示するためには、ライブビューウィンドウを表示させてからスナップショットボタンをクリックください。(非表示の場合でも、録画が行われている場合は現在の映像をスナップショットとして表示することができます。)



11．アラームの設定

アラーム信号を受信したときの動作設定を行うことができます。
（この機能を利用するためには、あらかじめアラームを受信するためのポート番号を指定することと、ビューポイントの機器本体でのアラーム設定が必要です。ポート番号の指定については「15-4. 通信ポートの設定」を、ビューポイントでのアラーム設定については機器本体に添付されている取扱説明書を参照してください。）

11-1．アラーム設定手順

1 アラームを設定したいライブビューウィンドウをクリックしてアクティブにします。

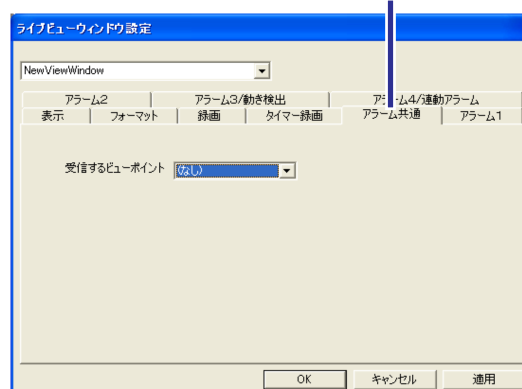
2 [設定] メニューの [ビューウィンドウ] を選択して、「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログを表示します。

3 [アラーム共通] をクリックします。

4 [受信するビューポイント] 部分のドロップダウンリストをクリックして、アラーム動作を行うビューポイントを選択します。

[なし] が選択されている場合は、アラーム受信を行いません。

[アラーム共通] タブ



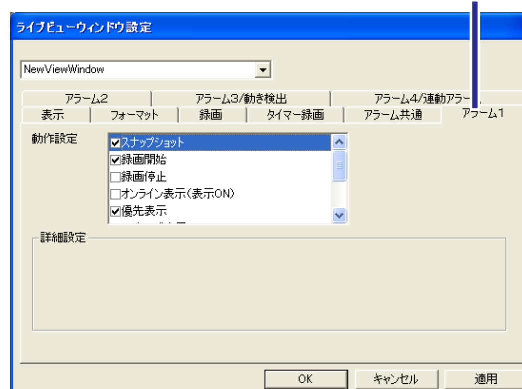
「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログ

5 [アラーム 1] [アラーム 2] [アラーム 3/ 動き検出] [アラーム 4/ 連動アラーム] タブで、それぞれのアラーム信号を受信したときの動作項目を選択します。

設定する動作項目をクリックして、チェックマークを付けてください。
（動作項目の詳細設定については、次の「11-2. アラーム受信時の動作項目設定」を参照してください。）

* DM-NC40 では、同一のアラーム入力ピンに対して 1 秒以内に連続して信号が入力された場合、最初の信号に対してのみ VN-S400 にアラーム信号を通知します。

例：[アラーム 1] タブ



「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログ

11-2．アラーム受信時の動作設定

■スナップショット■

ビューウィンドウの映像を静止画ファイルとして保存します。静止画はJPEG形式(JPEGチャンネルの場合)またはBMP形式(MPEG-4チャンネルの場合)で、ビューウィンドウ設定ダイアログで指定されたフォルダに保存されます。保存先の変更については、「13-8.録画ファイルの保存先設定」を参照してください。
保存されたファイルには[ビューポイント名]＋[時刻]のようにファイル名が付けられます。
(例) ViewPoint-1_20030920192030.jpg (2003年9月20日19時20分30秒のViewPoint-1の映像)

* ネットワークやＣＰＵ負荷の状況によっては、静止画ファイルがアラーム発生時刻よりも数秒程度遅れて作成されることがあります。
* 「１/３０ｆｐｓ」のような低フレームレート設定で運用している場合は、アラーム発生時刻よりも数秒～数十秒古い映像が記録されることがあります。このような場合にはフレームレート設定を高くするか、「アラーム録画開始」の「フレームレート変更」で一時的にフレームレート設定を高くしてください。

■録画開始■

ビューウィンドウの録画を開始します。
[指定時間経過後に録画を自動停止]にチェックがされた場合は、ここで指定された時間が経過後、ビューウィンドウの録画を停止します。ビューポイントがJPEGのユニキャストモードの場合は、自動停止を設定すると録画時のフレームレートを変更することが可能です。フレームレートはコンボボックスの値(1～30)から選択してください。

詳細設定
☑ 指定時間経過後に録画を自動停止(10秒～60分)
0 分　30 秒
☑ フレームレート変更　1　アラーム1／2／3／4共通の設定

[録画開始]の詳細設定

* フレームレートの値を大きくすると動きがなめらかな映像になりますが、ファイルサイズが大きくなります。
* シーケンシャル表示をしている場合は、アラーム受信対象ビューポイントの映像のみが指定のフレームレートとなります。変更後のフレームレートはビューポイント側の送信能力で制限されますので、ご注意ください。
* 同一ビューポイントからのアラームを複数のビューウィンドウで受信して同時に録画を行う場合、重複している録画部は各ビューウィンドウで設定された録画フレームレートのうち、最も高い値で録画されます。
* この設定によってフレームレートが変更された場合、他のビューウィンドウでの同一ビューポイントの表示・録画の際もこの設定と同じフレームレートになります。
* ネットワークやＣＰＵ負荷の状況によっては、録画開始がアラーム発生時刻よりも数秒程度遅れることがあります。
* 「１/３０ｆｐｓ」のような低フレームレート設定で運用している場合は、アラーム録画が正しく行われないことがあります。このような場合にはフレームレート設定を高くするか、「アラーム録画開始」の「フレームレート変更」で一時的にフレームレート設定を高くしてください。

■録画停止■

ビューウィンドウの録画を停止します。

■オンライン表示(表示ＯＮ)■

ビューウィンドウが非表示状態であった場合でも、強制的にビューウィンドウを表示します。

■優先表示■

ライブビューウィンドウが非表示であれば表示します。また、シーケンシャル表示している場合は、アラーム送信元の映像を表示し、シーケンシャル表示を停止します。

詳細設定
☐ ビューウィンドウの強調表示も行なう
☐ ビューウィンドウの変更　位置　○ 左上　◉ 不変
サイズ　○ 160x120　◉ 320x240　○ 640x480

[優先表示]の詳細設定

[ビューウィンドウの強調表示も行なう]にチェックがされた場合は、ビューウィンドウに色枠を表示して強調します。(色の設定については、「12.オプション設定ダイアログ」を参照してください。)
[ビューウィンドウの変更]にチェックがされた場合は、ビューウィンドウの位置とサイズを指定された状態に移行します。

位置　[左上]ビューウィンドウエリアの左上部分に移動します。
[不変]表示位置は変わりません。

サイズ　[160x120]　160x120にサイズを変更します。
[320x240]　320x240にサイズを変更します。
[640x480]　640x480にサイズを変更します。

■メッセージ表示■

設定したテキストボックスのメッセージを表示します。

詳細設定
表示方法　□ ビューウィンドウ　□ ポップアップ
表示するメッセージ(半角英数64文字または全角かな32文字まで)
Alarm1
□ アラームのメッセージを優先する

[メッセージ表示]の詳細設定

表示方法

[ビューウィンドウ]　ビューウィンドウ上にメッセージを表示します。
メッセージは、ビューウィンドウをクリックすると消去されます。

[ポップアップ]　ポップアップメッセージを表示します。メッセージダイアログは32枚まで表示されます。

表示するメッセージ

メッセージを入力します。(半角英数64文字または全角かな32文字までです。)

アラームのメッセージを優先する

ビューポイントがDM-NC40の場合に表示されます。チェックがされた場合は、DM-NC40で設定されたアラームのメッセージを表示します。(メッセージの長さによっては、ビューウィンドウにすべて表示されない場合があります。)

■Wave ファイル再生■

指定されたWaveファイルを再生します。

詳細設定
Waveファイル
参照...

[Wave ファイル再生]の詳細設定

Waveファイルを指定してください。

＜注意＞ファイルサイズの大きいWaveファイルを選択した場合、PCの性能によって動作が遅くなることがありますので、なるべくサイズの小さいWaveファイルを選択することをおすすめします。

■プログラム実行■

指定されたプログラムを実行します。

詳細設定
実行ファイル
参照...

[プログラム実行]の詳細設定

プログラムファイルを指定してください。

＜注意＞ファイルサイズの大きいプログラムファイルを選択した場合、PCの性能によって動作が遅くなることがありますので、なるべくサイズの小さいプログラムファイルを選択することをおすすめします。

■E-Mail 通知■

指定された宛先にE-Mailを送信します。(宛先の設定については、「12-8. アラーム受信時のE-Mail宛先設定」を参照してください。)

詳細設定
本文情報　□ メッセージ　□ ビューポイント名(IPアドレス)
□ アラーム種別　□ 時刻
添付　□ スナップショット

[E-Mail 通知]の詳細設定

送信するE-Mailに含める内容を指定します。

本文情報

[メッセージ]　「メッセージ表示」の設定で指定したメッセージを本文に表示します。

[ビューポイント名(IPアドレス)]　ビューポイント名とIPアドレスを本文に表示します。

[アラーム種別]　アラーム種別 / アラーム1～4を本文に表示します。

[時刻]　アラーム受信時刻を本文に表示します。

添付

[スナップショット]にチェックがされた場合は、アラーム受信時にJPEG形式のスナップショットを作成して、E-Mailに添付します。

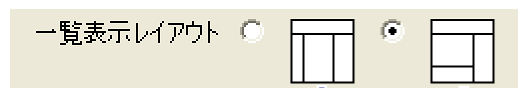


12. オプション設定

オプション設定ダイアログでは、VN-S400 のさまざまな設定を行なうことができます。
オプションダイアログは[設定]メニューの[オプション]を選択して、表示することができます。
設定を行なったあとには、[OK]ボタンをクリックしてオプション設定ダイアログを閉じてください。

12-1. 一覧表示エリアの位置

オプション設定ダイアログの[表示]タブをクリックします。



一覧表示エリアを左側に、縦に表示します。

一覧表示エリアを下側に、横に表示します。

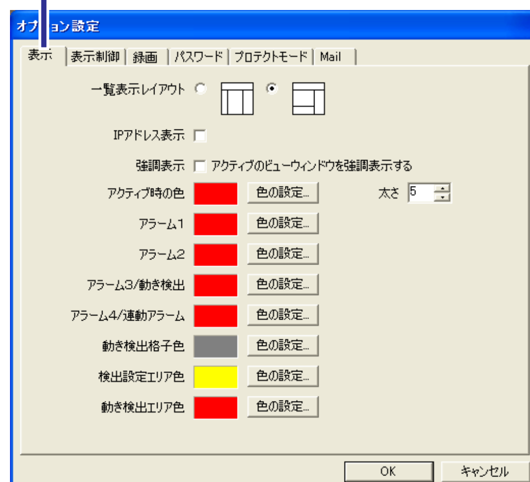
■一覧表示レイアウト■
一覧表示エリアの表示位置を選択することができます。

12-2. IP アドレス表示の切り替え

オプション設定ダイアログの[表示]タブをクリックします。

■IP アドレス表示■
ビューポイントアイコンとライブビューウィンドウの IP アドレスの表示 / 非表示を切り替えます。(録画中に IP アドレスの表示 / 非表示を切り替えると、再生時には別のビューチャンネルとして扱われます。)

[表示] タブ



「オプション設定」ダイアログ

12-3. ビューウィンドウの強調表示

オプション設定ダイアログの[表示]タブをクリックします。

■強調表示■
[アクティブのビューウィンドウを強調表示する]にチェックがされている場合、アクティブなビューウィンドウに枠を表示します。

■太さ■
ビューウィンドウに表示する枠の太さを指定します。

■アクティブ時の色■
選択されているビューウィンドウの枠色を指定します。

■アラーム1■
アラーム1を受信したビューウィンドウの枠色を指定します。
(アラーム受信時にビューウィンドウに色枠を表示するには、アラーム受信時の動作設定で「優先表示」を選択し、ビューウィンドウを強調表示する設定が必要です。)

■アラーム2■
アラーム2を受信したビューウィンドウの枠色を指定します。
(アラーム受信時にビューウィンドウに色枠を表示するには、アラーム受信時の動作設定で「優先表示」を選択し、ビューウィンドウを強調表示する設定が必要です。)

■アラーム3/ 動き検出■
アラーム3/ 動き検出を受信したビューウィンドウの枠色を指定します。

■アラーム4/ 連動アラーム■
アラーム4/ 連動アラームを受信したビューウィンドウの枠色を指定します。
(アラーム受信時にビューウィンドウに色枠を表示するには、アラーム受信時の動作設定で「優先表示」を選択し、ビューウィンドウを強調表示する設定が必要です。)

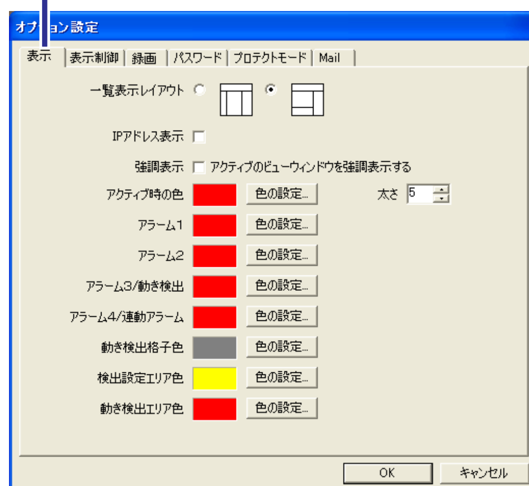
■動き検出格子色■
ビューポイントで設定されている動き検出格子の表示色を指定します。

■検出設定エリア色■
ビューポイントで設定されている検出設定エリアの表示色を指定します。

■動き検出エリア色■
ビューポイントで設定されている動き検出エリアの表示色を指定します。

(動き検出格子・検出設定エリア・動き検出エリアの表示については、「13-2. 動き検出設定」を参照してください。また、ビューポイントの動き検出設定については、接続機器の取扱説明書を参照してください。)

[表示] タブ

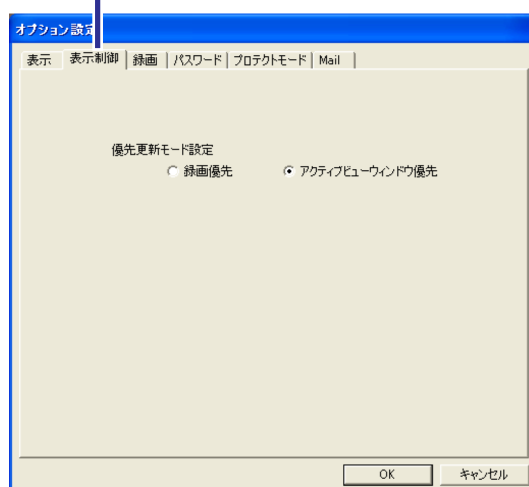


「オプション設定」ダイアログ

12-4. 優先更新モードの設定

オプション設定ダイアログの[表示制御]タブをクリックします。

[表示制御] タブ



「オプション設定」ダイアログ

■録画優先■
優先更新モードが有効な場合に、録画中のビューウィンドウの映像ができるだけ設定どおりのフレームレートを確保できるように、録画していないビューウィンドウのフレームレートを調整します。

■アクティブビューウィンドウ優先■
優先更新モードが有効な場合に、アクティブなビューウィンドウの映像ができるだけ設定どおりのフレームレートを確保できるように、アクティブでないビューウィンドウのフレームレートを調整します。

優先更新モードを有効にするには、[設定] メニューの[優先更新モード]をクリックします。チェックマークが付いている状態が、優先更新モード中の状態です。優先更新モードについての詳細は「16. 優先更新モード」を参照してください。

12-5．録画ファイルの自動削除設定

オプション設定ダイアログの[録画]タブをクリックします。

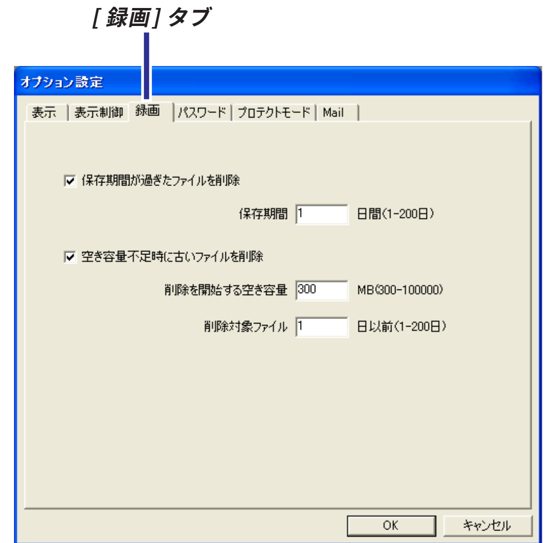
■保存期間が過ぎたファイルを削除■

保存期間が過ぎた録画ファイルを自動的に削除する場合は、チェックマークを付けて、保存期間を指定します。
(保存期間を「３日間」と指定した場合、本日記録されたファイルは、本日を含め３日間保存されたあと自動的に削除されます。)
ファイルの削除は、起動中に日付が変わったとき(午前０時を過ぎたとき)に行われます。

■空き容量不足時に古いファイルを削除■

録画中にディスクの空き容量が不足した場合に、空き容量を確保するために自動的に古い録画ファイルを削除する機能です。録画ファイルの削除を行う場合はチェックマークを付けて、削除開始の目安となる空き容量と削除対象となる録画ファイルを指定します。
(削除を開始する空き容量を「500MB」とし、削除対象ファイルを「３日以前」と指定した場合、ディスクの空き容量が500MB以下になったときに、３日前の日を含めてそれ以前に録画されたファイルを徐々に削除して、500MBを上回る空き容量を確保できるようにします。)
ファイルの削除は、起動中にディスクの空き容量が「削除を開始する空き容量」を下回ったとき、または空き容量がこれを下回っている状態で日付が変わったとき(午前０時を過ぎたとき)に行われます。

[録画]タブ



「オプション設定」ダイアログ

＜注意＞

* 空き容量不足時に古いファイルを削除する場合、保存先のフォルダに該当する録画ファイルが存在しないときや、録画ファイルを削除しても十分な空き容量が得られないときは録画が停止します。また、削除の対象となる録画ファイルが存在しても、時間あたりの記録容量と削除容量の関係で録画が止まる場合がありますのでご注意願います。

* いずれの設定においても、ディスクの空き容量が少なくなる（空き容量200MB以下)と録画は停止します。
  連続録画するためには、以下のように設定してください。

  「保存期間が過ぎたファイルを削除」を設定する場合：
  [保存期間]　設定された期間期間内に録画される録画容量の合計がディスク容量のおよそ７割以下になるような期間を設定。

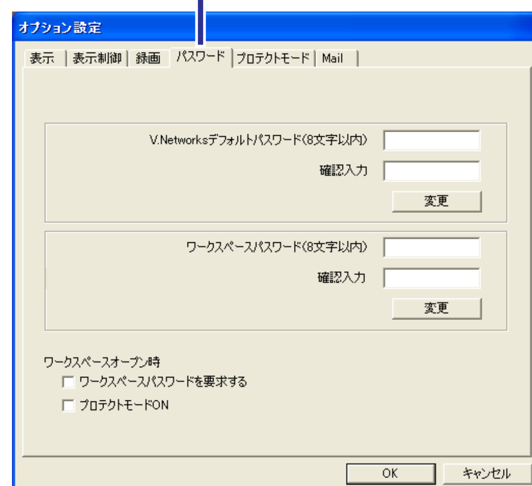
  「空き容量不足時に古いファイルを削除」を設定する場合：
  [削除を開始する空き容量]　ディスク容量のおよそ３割の容量を設定。
  [削除対象ファイル]　設定された期間内に録画される録画容量の合計がディスク容量のおよそ７割以下になるような期間を設定。

* 削除の対象となるのは、録画ファイルの保存先として設定されたフォルダ内にある次の種類のファイルです。
  削除したくないファイルは、録画ファイルの保存先に指定したフォルダ以外の場所に移動してください。
  ・REC ファイル(*.rec)・ASF ファイル(*.asf)・JPEG ファイル(*.jpg)
  ・BMP ファイル(*.bmp)・AVI ファイル(*.avi)
  録画ファイルの保存先の設定については「13-8．録画ファイルの保存先設定」を参照してください。

* ファイルの自動削除は、起動中に日付が変わったとき(午前０時を過ぎたとき)、ディスクの空き容量が設定値以下になったとき、または[録画]タブでの設定を変更して[OK]ボタンをクリックしたときに動作します。
  保存期間の設定などを間違えた状態で[OK]ボタンをクリックすると、必要なファイルを削除してしまう可能性もありますので、設定時には十分注意してください。

12-6．パスワードの設定

オプション設定ダイアログの[パスワード]タブをクリックします。ここでは、V.NETWORKSデフォルトパスワードとワークスペースパスワードを設定します。



「オプション設定」ダイアログ

■V.NETWORKSデフォルトパスワード■

ビューポイントがV.NETWORKS（VN-C1/C2/C3/C30/A1/C10/C625）のとき、ビューポイント設定ダイアログで特定のパスワードを設定していない場合（「15-3.ビューポイント（V.NETWORKS）にパスワードを設定」において、［以下のパスワードを使用する］がチェックされていない場合）は、ここで設定したパスワード（デフォルトパスワード）が適用されます。

1 新しいパスワードを8文字以内で入力します。
[確認入力]部分にもう一度入力します。

2 このパスワードを有効にするには、[変更]をクリックします。

■ワークスペースパスワード■

ワークスペースを開くためのパスワードを設定します。このパスワードは、プロテクトモードを切り替える場合にも適用されます。

1 新しいパスワードを8文字以内で入力します。
[確認入力]部分にもう一度入力します。

2 このパスワードを有効にするには、[変更]をクリックします。

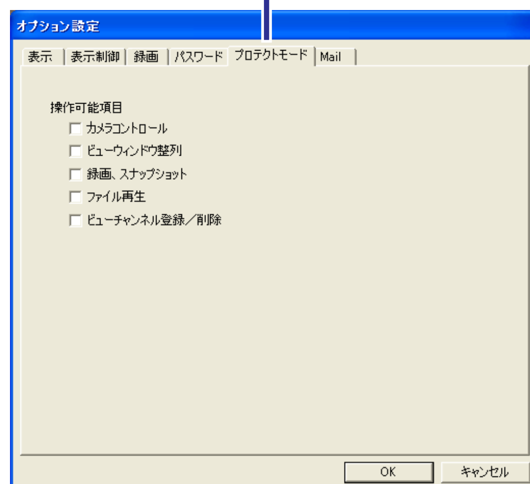
3 ワークスペースを開くときにパスワードを要求する場合は、[ワークスペースパスワードを要求する]にチェックマークをつけます。
ワークスペースを開くときにプロテクトモードを有効にする場合は[プロテクトモードON]にチェックマークをつけます。

12-7．プロテクトモードの設定

オプション設定ダイアログの[プロテクトモード]タブをクリックします。

プロテクトモードは、VN-S400の操作を制限するためのモードです。プロテクトモード中は、あらかじめ許可された機能だけを操作することができます。[プロテクトモード]タブでは、プロテクトモード中でも使用できる機能を設定します。

[プロテクトモード]タブ



「オプション設定」ダイアログ

操作可能項目 (チェックマークを付けると、プロテクトモード中でも○印の機能が利用できます。)	(チェックしない)	カメラコントロール	ビューウィンドウ整列	録画、スナップショット	ファイル再生	ビューチャンネル登録／削除
ワークスペースを開く・閉じる	○	○	○	○	○	○
VN-S400を終了する	○	○	○	○	○	○
ツールバーの表示切替	○	○	○	○	○	○
バージョンの表示	○	○	○	○	○	○
ライブコントローラーの操作				○		
シーケンシャル表示の切替				○		
VN-C2/C3/C30/C625用コントローラーの操作		○				
外部機器コントローラーの操作		○				
再生コントローラーの操作					○	
ビューウィンドウの整列			○			
ビューチャンネルの登録・削除						○

プロテクトモードを有効にするには、[設定]メニューの[プロテクトモード]をクリックします。チェックマークが付いている状態が、プロテクトモード中の状態です。プロテクトモードを解除する場合は、もう一度[設定]メニューの[プロテクトモード]をクリックします。

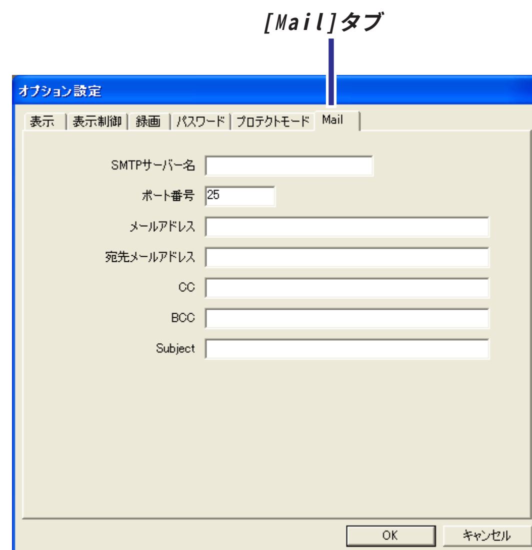
プロテクトモードの設定・解除を切り替える時には、パスワードを入力する必要があります。プロテクトモードのパスワードはワークスペースのパスワードと同じものが適用されます。パスワードの設定については「12-6．パスワードの設定」を参照してください。

＜注意＞

プロテクトモード中は、ワークスペースを保存することができません。また、プロテクトモード中にVN-S400を終了すると、ワークスペースに変更があった場合でも保存確認のためのダイアログを表示せずに終了します。(変更内容は破棄されます。)

12-8．アラーム受信時のE-Mail 宛先設定

オプション設定ダイアログの[Mail]タブをクリックします。
アラーム受信時にE-Mail通知する設定の場合、ここで設定したアドレスにE-mailを送信します。
(アラームについては、「11. アラームの設定」を参照してください。)



「オプション設定」ダイアログ

[SMTP サーバー名]

SMTPサーバー名を指定します。(全角文字は使用できません。)

[ポート番号]

ポート番号を指定します。

[メールアドレス]

メールの送信元アドレスを指定します。(全角文字は使用できません。)

[宛先メールアドレス]

メール送信の宛先アドレスを指定します。必ず1つ以上のアドレスを指定してください。(アドレスは10個まで指定できます。複数のアドレスを設定する場合はカンマ(,)またはスペースでアドレスを区切ります。全角文字は使用できません。)

[CC]

CC用メールアドレスを指定します。(アドレスは10個まで指定できます。複数のアドレスを設定する場合はカンマ(,)またはスペースでアドレスを区切ります。全角文字は使用できません。)

[BCC]

BCC用メールアドレスを指定します。(アドレスは10個まで指定できます。複数のアドレスを設定する場合はカンマ(,)またはスペースでアドレスを区切ります。全角文字は使用できません。)

[Subject]

送信メールに表示するのSubject(件名)を指定します。



13．ライブビューウィンドウの設定

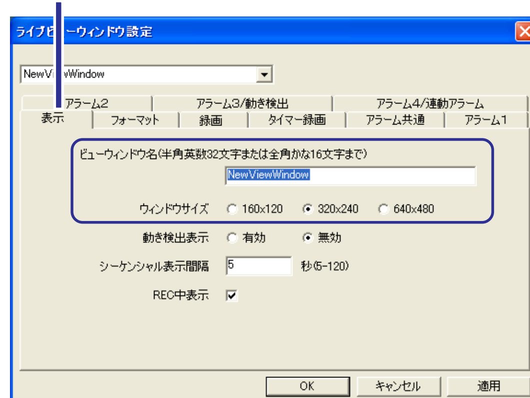
ライブビューウィンドウの設定について説明します。

13-1．ビューウィンドウ名と表示サイズの変更

設定したいライブビューウィンドウをクリックしてアクティブにしてから[設定]メニューの[ビューウィンドウ]をクリックします。「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログが表示されます。
(一覧表示エリアで、ライブビューウィンドウアイコンをダブルクリックしても同様の操作が可能です。)

[表示]タブをクリックします。

[表示]タブ



「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログ

■ビューウィンドウ名■
現在のビューウィンドウ名が表示されています。変更する場合は新しいビューウィンドウ名を入力してください。(ビューウィンドウ名は、半角英数32文字または全角かな16文字までです。)

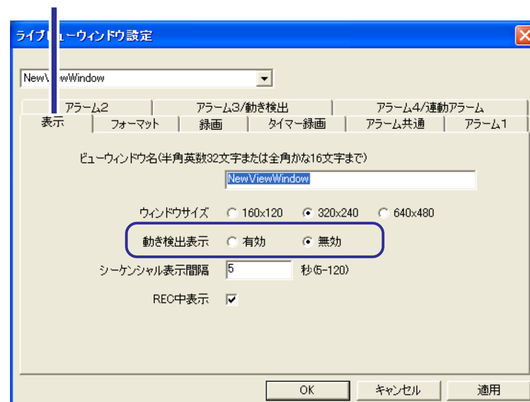
■ウィンドウサイズ■
ビューウィンドウサイズを選択してください。

13-2．動き検出表示設定

ライブビューウィンドウに動き検出格子・検出設定エリア・動き検出エリアを表示させる機能です。
この機能は、ビューポイントがVN-A1、VN-C625、またはVN-C10(JPEGチャンネル)のときに使用できます。この機能を使用するためには、ビューポイントの機器本体の設定が必要です。

設定したいライブビューウィンドウをクリックしてアクティブにしてから[設定]メニューの[ビューウィンドウ]をクリックします。「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログが表示されます。
(一覧表示エリアで、ライブビューウィンドウアイコンをダブルクリックしても同様の操作が可能です。)

[表示]タブ



「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログ

[表示]タブをクリックします。
「動き検出表示」の設定部分で[有効]を選択すると、動き検出格子・検出設定エリア・動き検出エリアをライブビューウィンドウに表示します。また、それぞれ表示する色を指定することもできます。
(「12-3．ビューウィンドウの強調表示」を参照してください。)

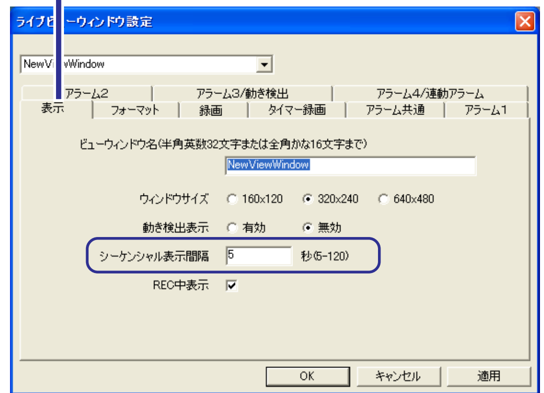
13-3. シーケンシャル表示設定

シーケンシャル表示とは、1つのライブビューウィンドウに複数のJPEGチャンネルが登録されている場合、それぞれのチャンネルを一定間隔で順番に切り替えながら表示する機能です。(MPEGチャンネルが登録されているライブビューウィンドウでは設定できません。)

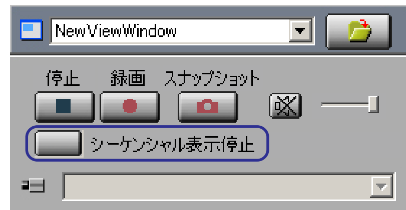
設定したいライブビューウィンドウをクリックしてアクティブにしてから[設定]メニューの[ビューウィンドウ]をクリックします。「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログが表示されます。
(一覧表示エリアで、ライブビューウィンドウアイコンをダブルクリックしても同様の操作が可能です。)

[表示]タブをクリックします。
[シーケンシャル表示間隔]に、秒数を入力します。5秒から120秒で設定可能です。
シーケンシャル表示を開始するには、ライブコントローラーの、[シーケンシャル表示設定]ボタンをクリックします。クリックするごとに、シーケンシャル表示の開始/停止を切り替えることができます。
シーケンシャル表示が停止されている場合は、[シーケンシャル表示設定]ボタンの下のビューチャンネルリストが有効になります。このリストをクリックして、登録されているビューチャンネルを選ぶと、表示するビューチャンネルを切り替えることができます。

[表示]タブ



「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログ



ライブコントローラー

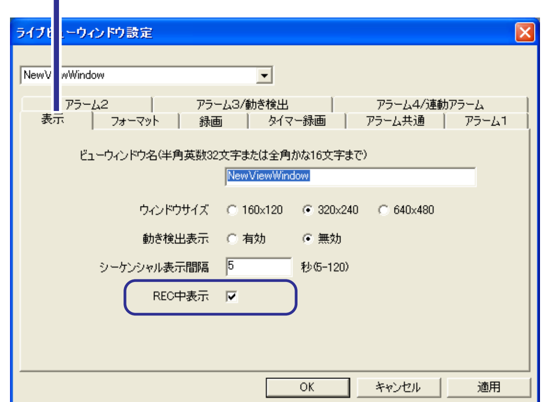
13-4. REC中表示の設定

録画中のビューウィンドウに“REC”の文字を表示します。

設定したいライブビューウィンドウをクリックしてアクティブにしてから[設定]メニューの[ビューウィンドウ]をクリックします。「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログが表示されます。
(一覧表示エリアで、ライブビューウィンドウアイコンをダブルクリックしても同様の操作が可能です。)

[表示]タブをクリックします。
[REC中表示]にチェックがされている場合、録画中に“REC”の文字を表示します。

[表示]タブ

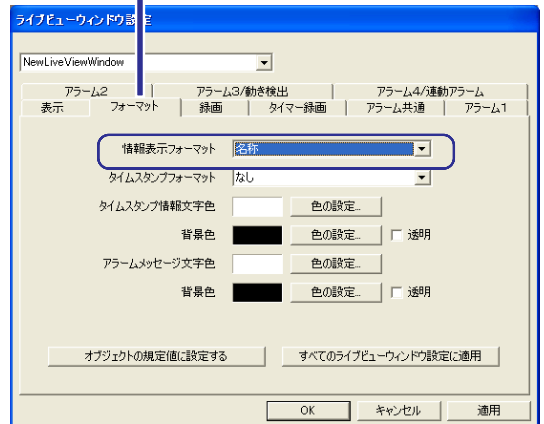


「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログ

13-5．接続ビューポイントの情報表示設定

接続中のビューポイントの情報をビューウィンドウ上に表示します。設定したいライブビューウィンドウをクリックしてアクティブにしてから[設定]メニューの[ビューウィンドウ]をクリックします。「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログが表示されます。
(一覧表示エリアで、ライブビューウィンドウアイコンをダブルクリックしても同様の操作が可能です。)

[フォーマット]タブ



「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログ

[フォーマット]タブをクリックします。
[情報表示フォーマット]から選択します。

なし:ビューポイントの情報を表示しません。

名称: ビューチャンネル名を表示します。一覧表示エリアで「IPアドレス表示」設定がONの場合には、IPアドレスも表示します。

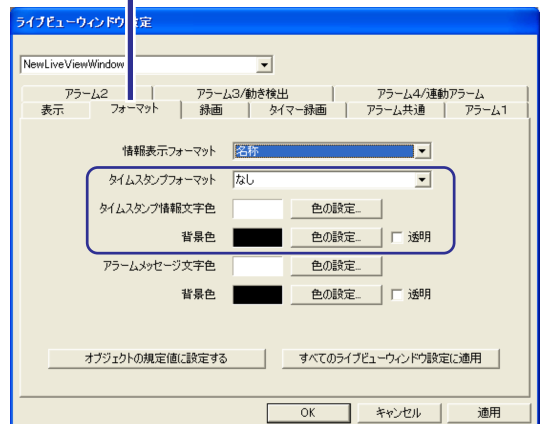
名称・機種： ビューチャンネル名と機種名を表示します。一覧表示エリアで「IPアドレス表示」設定がONの場合には、IPアドレスも表示します。

＊ 一覧表示エリアのIPアドレス表示設定については、「12-2.IPアドレス表示の切り替え」または「19-2.一覧表示エリアの各アイコンを右クリック」を参照してください。

13-6．タイムスタンプ表示設定

ライブビューウィンドウにタイムスタンプを表示する場合の文字色と背景色を設定します。
設定したいライブビューウィンドウをクリックしてアクティブにしてから[設定]メニューの[ビューウィンドウ]をクリックします。「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログが表示されます。
(一覧表示エリアで、ライブビューウィンドウアイコンをダブルクリックしても同様の操作が可能です。)

[フォーマット]タブ



「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログ

[フォーマット]タブをクリックします。

■タイムスタンプフォーマット■

[タイムスタンプフォーマット]から選択します。

なし	(タイムスタンプを表示しません。)
YYYY/MM/DD HH:MM:SS.mm	(年/月/日 時間:分:秒.ミリ秒)
YYYY/MM/DD HH:MM:SS	(年/月/日 時間:分:秒)
DD/MM/YYYY HH:MM:SS	(日/月/年 時間:分:秒)
MM/DD/YYYY HH:MM:SS	(月/日/年 時間:分:秒)
MM/DD HH:MM:SS	(月/日 時間:分:秒)
HH:MM:SS	(時間:分:秒)
HH:MM	(時間:分)

■タイムスタンプの表示色設定■

[タイムスタンプ文字色]と[背景色]部分で、[色の設定]ボタンをクリックして設定することができます。
[透明]にチェックがされた場合には、背景色を透明に設定します。

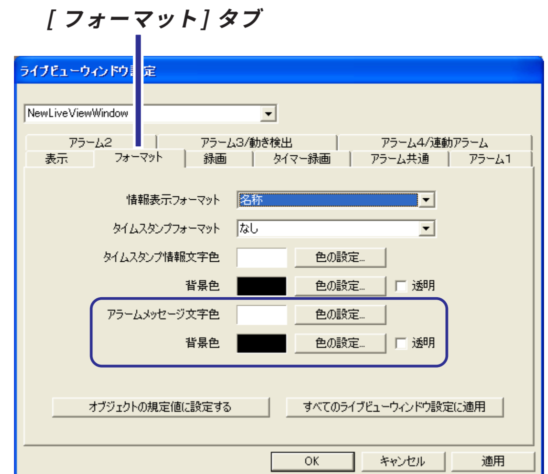
＊ タイムスタンプの表示/非表示の切り替えは、ビューウィンドウを右クリックして「タイムスタンプ表示」を選択します。詳細は「19-1.ビューウィンドウ上で右クリック」を参照してください。

13-7．アラームメッセージ表示色設定

設定したいライブビューウィンドウをクリックしてアクティブにしてから[設定]メニューの[ビューウィンドウ]をクリックします。
「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログが表示されます。
(一覧表示エリアで、ライブビューウィンドウアイコンをダブルクリックしても同様の操作が可能です。)

[フォーマット]タブをクリックします。

[アラームメッセージ文字色]と[背景色]部分で、[色の設定]ボタンをクリックして設定することができます。
[透明]にチェックがされた場合には、背景色を透明に設定します。
(アラームメッセージの内容設定については、「11-2. アラーム受信時の動作設定」を参照してください。)



「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログ

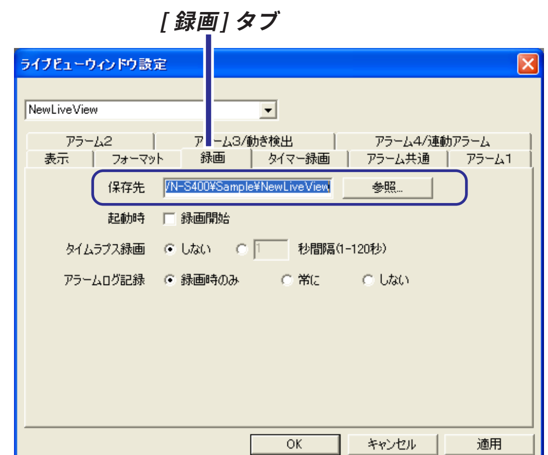
13-8．録画ファイルの保存先設定

ライブビューウィンドウの録画ファイルを保存する場所を設定します。
設定したいライブビューウィンドウをクリックしてアクティブにしてから[設定]メニューの[ビューウィンドウ]をクリックします。
「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログが表示されます。
(一覧表示エリアで、ライブビューウィンドウアイコンをダブルクリックしても同様の操作が可能です。)

[録画]タブをクリックします

[保存先]に表示されている場所が現在設定されている場所です。
変更する場合は、ドライブ文字から始まるフォルダ名を入力してください。
(例) C:\Document and Setting\Administrator\Workspace1\ViewWindow1
保存先にはローカルドライブを指定してください。ネットワークドライブを指定すると正常に動作しないことがあります。

* 録画中に保存先を変更しないでください。変更する場合は、いったん録画を停止してください。次の録画時から保存先の変更が反映されます。

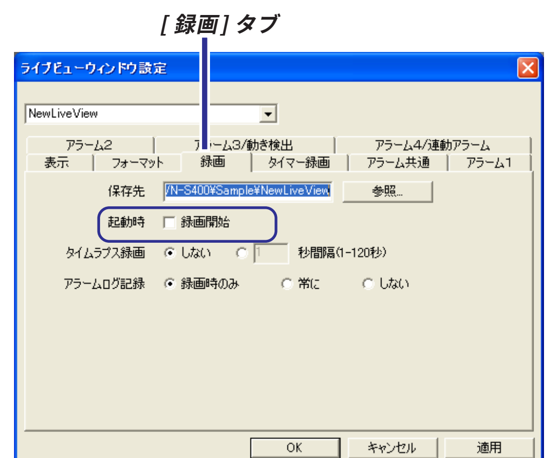


「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログ

13-9．　起動時録画開始設定

ワークスペースを開いたときに、自動的に録画を開始します。
設定したいライブビューウィンドウをクリックしてアクティブにしてから、[設定]メニューの[ビューウィンドウ]をクリックします。
「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログが表示されます。
(一覧表示エリアで、ライブビューウィンドウアイコンをダブルクリックしても同様の操作が可能です。)

[録画]タブをクリックします。
[起動時]部分の[録画開始]にチェックがされている場合、ワークスペースを開いたときに自動的に録画を開始します。



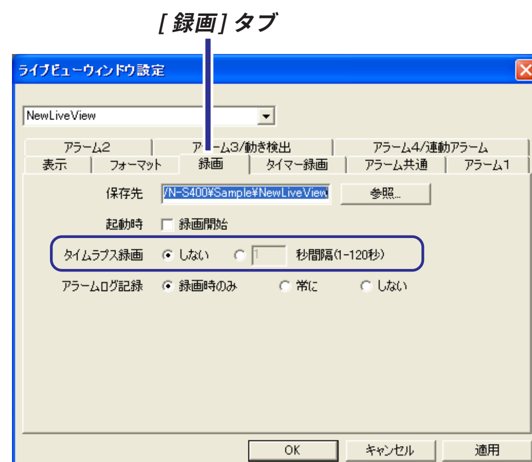
「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログ

13-10．タイムラプス録画設定

一定間隔でライブビューウィンドウを1フレームずつ録画します。この機能は、ビューチャンネルがJPEGチャンネルの場合に設定できます。

設定したいライブビューウィンドウをクリックしてアクティブにしてから[設定]メニューの[ビューウィンドウ]をクリックします。「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログが表示されます。
(一覧表示エリアで、ライブビューウィンドウアイコンをダブルクリックしても同様の操作が可能です。)

[録画]タブをクリックします。
1秒から120秒のあいだで、録画間隔を指定できます。



「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログ

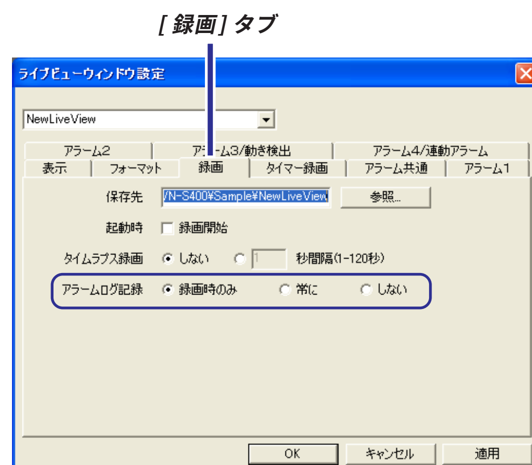
13-11．アラーム記録設定

アラームを受信した場合のアラームリストへの記録条件を設定します。
設定したいライブビューウィンドウをクリックしてアクティブにしてから[設定]メニューの[ビューウィンドウ]をクリックします。「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログが表示されます。
(一覧表示エリアで、ライブビューウィンドウアイコンをダブルクリックしても同様の操作が可能です。)

[録画]タブをクリックします。

[アラーム記録]を設定します。

[録画時のみ]	アラームを受信したライブビューウィンドウが録画中の場合のみ、アラームリストに記録します。
[常に]	アラームを受信した場合は、常にアラームリストに記録します。
[しない]	アラームを受信しても、アラームリストに記録しません。



「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログ



14．再生ビューウィンドウの設定

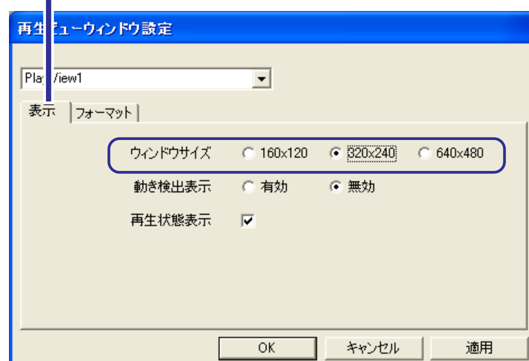
再生ビューウィンドウの設定について説明します。

14-1．ビューウィンドウの表示サイズの変更

設定したい再生ビューウィンドウをクリックしてアクティブにしてから[設定]メニューの[ビューウィンドウ]をクリックします。「再生ビューウィンドウ設定」ダイアログが表示されます。(一覧表示エリアで、再生ビューウィンドウアイコンをダブルクリックしても同様の操作が可能です。)

[表示]タブをクリックします。
ビューウィンドウサイズを選択してください。

[表示]タブ



「再生ビューウィンドウ設定」ダイアログ

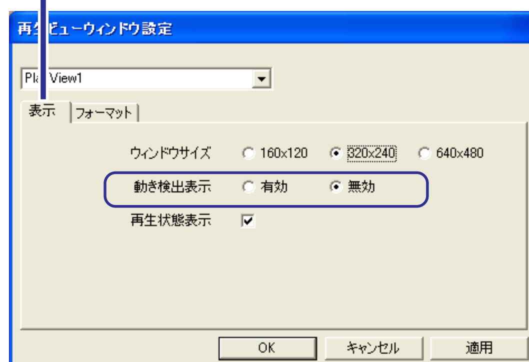
14-2．動き検出表示設定

再生ビューウィンドウに動き検出格子・検出設定エリア・動き検出エリアを表示させる機能です。

設定したい再生ビューウィンドウをクリックしてアクティブにしてから[設定]メニューの[ビューウィンドウ]をクリックします。「再生ビューウィンドウ設定」ダイアログが表示されます。(一覧表示エリアで、再生ビューウィンドウアイコンをダブルクリックしても同様の操作が可能です。)

[表示]タブをクリックします。
[有効]を選択すると、動き検出格子・検出設定エリア・動き検出エリアを再生ビューウィンドウに表示します。それぞれ表示する色を指定することもできます。(「12-3．ビューウィンドウの強調表示」を参照してください。)

[表示]タブ



「再生ビューウィンドウ設定」ダイアログ

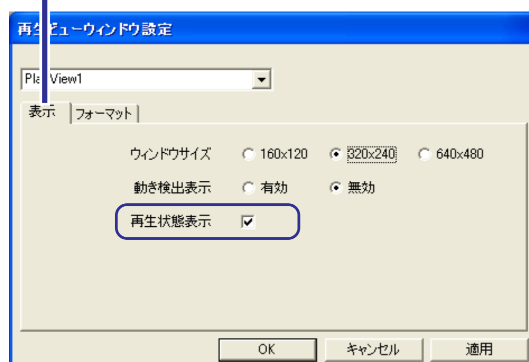
14-3．再生状態表示設定

再生ウィンドウの操作状態(PLAY、PAUSE など)をウィンドウ上に表示する機能です。

設定したい再生ビューウィンドウをクリックしてアクティブにしてから[設定]メニューの[ビューウィンドウ]をクリックします。「再生ビューウィンドウ設定」ダイアログが表示されます。(一覧表示エリアで、再生ビューウィンドウアイコンをダブルクリックしても同様の操作が可能です。)

[表示]タブをクリックします。
[再生状態表示]にチェックがされている場合、アクティブな再生ウィンドウの操作状態をウィンドウ上に表示します。

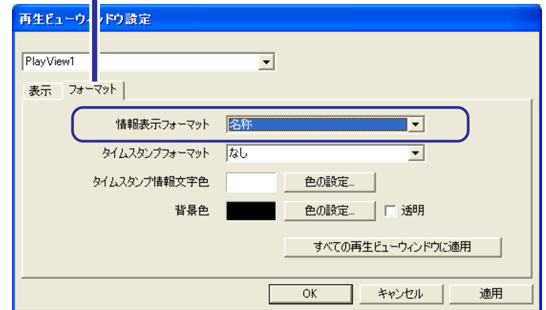
[表示]タブ



「再生ビューウィンドウ設定」ダイアログ

14-4．録画ビューポイントの情報表示設定

録画したビューポイントの情報をビューウィンドウに表示します。
設定したい再生ビューウィンドウをクリックしてアクティブにしてから[設定]メニューの[ビューウィンドウ]をクリックします。
「再生ビューウィンドウ設定」ダイアログが表示されます。
(一覧表示エリアで、再生ビューウィンドウアイコンをダブルクリックしても同様の操作が可能です。)



「再生ビューウィンドウ設定」ダイアログ

[フォーマット]タブをクリックします。
[情報表示フォーマット]から選択します。

[なし] ビューポイントの情報を表示しません。

[名称] (PC 録画ファイルの場合)

ビューチャンネル名を表示します。一覧表示エリアの「IP アドレス表示」設定が ON の状態で録画されたファイルでは、IP アドレスも表示します。

(ローカル録画ファイルの場合)

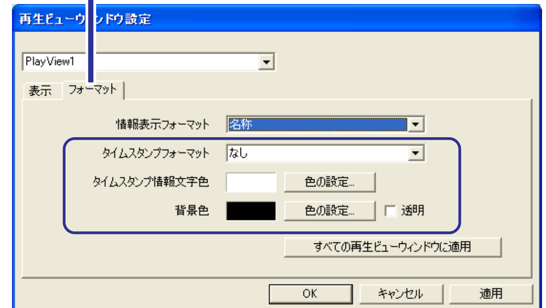
機器で設定された名称を表示します。

* MPEG-4 チャンネルの映像を録画した場合に作成される、ASF ファイル(*.asf)の場合は名称は表示されません。

14-5．タイムスタンプ表示設定

再生ビューウィンドウにタイムスタンプを表示する場合の文字色と背景色を設定します。

設定したい再生ビューウィンドウをクリックしてアクティブにしてから[設定]メニューの[ビューウィンドウ]をクリックします。
「再生ビューウィンドウ設定」ダイアログが表示されます。
(一覧表示エリアで、再生ビューウィンドウアイコンをダブルクリックしても同様の操作が可能です。)



「再生ビューウィンドウ設定」ダイアログ

[フォーマット]タブをクリックします。

■タイムスタンプフォーマット■

[タイムスタンプフォーマット]から選択します。

なし	(タイムスタンプを表示しません。)
YYYY/MM/DD HH:MM:SS.mm	(年/月/日 時間:分:秒.ミリ秒)
YYYY/MM/DD HH:MM:SS	(年/月/日 時間:分:秒)
DD/MM/YYYY HH:MM:SS	(日/月/年 時間:分:秒)
MM/DD/YYYY HH:MM:SS	(月/日/年 時間:分:秒)
MM/DD/ HH:MM:SS	(月/日 時間:分:秒)
HH:MM:SS	(時間:分:秒)
HH:MM	(時間:分)

■タイムスタンプの表示色設定■

[タイムスタンプ情報文字色]と[背景色]部分で、[色の設定]ボタンをクリックして設定することができます。
[透明]にチェックがされた場合には、背景色を透明に設定します。

* タイムスタンプの表示/非表示の切り替えは、ビューウィンドウを右クリックして「タイムスタンプ表示」を選択します。詳細は「19-1．ビューウィンドウ上で右クリック」を参照してください。



15．ビューポイントの設定

15-1．ビューポイント名の変更

ビューポイント名とビューチャンネル名を変更します。

[一般]タブ

「ビューポイント設定」ダイアログ

1 一覧表示エリアで、設定したいビューポイントまたはビューチャンネルを選択します。

2 [設定]メニューの[ビューポイント]を選択します。「ビューポイント設定」ダイアログの[一般]タブをクリックして表示します。

3 [ビューポイント名]または[ビューチャンネル名]に新しい名前を入力します。ビューポイントがDM-NC40の場合には、MPEG-4チャンネルとJPEGチャンネルの2つのビューチャンネルがありますので、それぞれに名前を設定します。
(それぞれ、半角英数32文字または全角かな16文字までです。)

* 録画中にビューチャンネル名を変更すると、再生時には別のビューチャンネルとして扱われます。

4 [OK]をクリックしてダイアログを閉じてください。

15-2．ビューポイント(DM-NC40)にパスワードを設定

ビューポイントがDM-NC40の場合に、DM-NC40に接続するためのアカウント(ユーザ名、パスワード)を設定します。アカウントの設定はワークスペースに保存しますので、次回ワークスペースを開いた際に保存したアカウントとDM-NC40のアカウントが一致していればDM-NC40と接続できます。

DM-NC40を新規ビューポイント登録した時点ではアカウントに初期値が設定されていますので、DM-NC40本体のアカウントを初期値のまま使用している場合にはそのまま接続可能です。

DM-NC40本体のアカウントを初期値から変更するにはあらかじめWebブラウザを使用してDM-NC40本体の設定を変更します。詳細については、DM-NC40の取扱説明書を参照してください。(VN-S400ではDM-NC40本体のアカウントを変更することはできません。)

ビューポイント設定のアカウントとDM-NC40本体のアカウントが一致しない場合には、以下の手順でアカウントを変更する必要があります。

[アカウント]タブ

「ビューポイント設定」ダイアログ

1 一覧表示エリアで、アカウントを設定したいビューポイントまたはビューチャンネルを選択します。

2 [設定]メニューの[ビューポイント]を選択します。
「ビューポイント設定」ダイアログの[アカウント]タブをクリックして表示します。

3 設定(変更)したい項目の[変更]をクリックします。

* アカウントが一致していない場合「ユーザ名」が赤文字で表示されます。

(手順は次のページに続きます)

4 「アカウント変更」ダイアログが表示されます。
新しいアカウントを入力してください。
[確認入力]に再度入力をして、[OK]をクリックします。

5 「ビューポイント設定」ダイアログの[OK]をクリックして、
ダイアログを閉じてください。

15-3．ビューポイント(V.NETWORKS)にパスワードを設定

ビューポイントがVN-C1/C2/C3/C10/C30/C625/A1（V.NETWORKS）の場合に、V.NETWORKSに接続するためのパスワードを設定します。パスワードの設定はワークスペースに保存しますので、次回ワークスペースを開いた際に、保存したパスワードとV.NETWORKSのパスワードが一致していればV.NETWORKSと接続できます。

V.NETWORKSを新規ビューポイント登録した時点ではパスワードは設定されていませんので、そのまま接続可能です。(ただし、V.NETWORKS本体にパスワードが設定されている場合には、接続時にパスワードの入力が必要です。V.NETWORKSデフォルトパスワードと本体に設定されているパスワードが一致している場合はそのまま接続できます。)

V.NETWORKS本体のパスワードを変更したり、設定するにはあらかじめセットアップツールを使用してV.NETWORKS本体に設定します。詳細については各機器の取扱説明書を参照してください。
(VN-S400ではV.NETWORKS本体のパスワードを変更したり、設定することはできません。VN-S400動作中にセットアップツールでV.NETWORKS本体のパスワードを変更した場合は、VN-S400のワークスペースを開きなおしてください。)

ビューポイント設定のパスワード、もしくはデフォルトパスワードとV.NETWORKS本体のパスワードが一致しない場合には接続不可の状態となり、エラーメッセージが表示されます。接続するためには以下の手順でパスワードを変更してください。

1 一覧表示エリアで、パスワードを設定したいビューポイントまたはビューチャンネルを選択します。

2 [設定]メニューの[ビューポイント]を選択します。
「ビューポイント設定」ダイアログの[一般]タブをクリックして表示します。

3 [パスワード]にビューポイントのパスワードを8文字以内で入力してください。
[確認入力]に再度入力して、[変更]をクリックします。

4 [以下のパスワードを使用する]にチェックがされた場合に、設定されたパスワードを使用します。
チェックがされない場合は、オプション設定ダイアログで設定されたV.NETWORKSデフォルトパスワードを使用します。
V.NETWORKSデフォルトパスワードの設定については「12-6．パスワードの設定」を参照してください。

5 「ビューポイント設定」ダイアログの[OK]をクリックして、
ダイアログを閉じてください。

[一般]タブ

「ビューポイント設定」ダイアログ

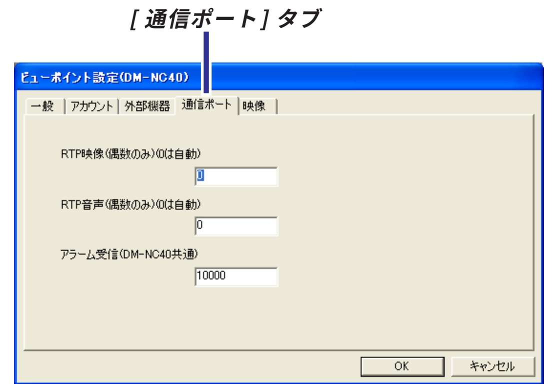
15-4．通信ポートの設定

ビューポイントとの通信に利用するポート番号を設定します。

1 一覧表示エリアで、設定したいビューポイントまたはビューチャンネルを選択します。

2 [設定]メニューの[ビューポイント]を選択します。
「ビューポイント設定」ダイアログの[通信ポート]タブをクリックして表示します。
設定の変更は、次回にワークスペースを開いたときから有効になります。

＊ポートを指定する際は、Well-Knownポート（1～1023）以外の使用を推奨します。



「ビューポイント設定」ダイアログ　（DM-NC40の例）

■ビューポイントがDM-NC40の場合■

[RTP映像]　MPEG-4チャンネル　ユニキャスト時の映像を受信するポート番号を指定します。
デフォルト値は0です。
0：　VN-S400が自動でポート番号を決定します。
2～65534の偶数番号：　指定のポートで受信します。

[RTP音声]　MPEG-4チャンネル　ユニキャスト時の音声を受信するポート番号を指定します。
デフォルト値は0です。
0：　VN-S400が自動でポート番号を決定します。
2～65534の偶数番号：　指定のポートで受信します。

[アラーム受信]　DM-NC40から送信されるアラームを受信するポート番号を指定します。
デフォルト値は10000です。
1～65535：　指定のポートで受信します。

＊　アラーム受信ポート番号の指定はワークスペース内に登録されたすべてのDM-NC40で共通指定となります。
＊　アラーム受信を行うには、DM-NC40側のアラーム送信先設定が必要です。

■ビューポイントがV.NETWORKSの場合■

[RTP]　VN-C10　MPEG-4チャンネルの映像を受信するポート番号を指定します。
デフォルト値は0です。
0：　VN-S400が自動でポート番号を決定します。
1～65535：　指定のポートで受信します。

[アラーム受信]　V.NETWORKS(アラーム対応機種)から送信されるアラームを受信するポート番号を指定します。
デフォルト値は5001です。
0：　VN-S400が自動でポート番号を決定します。
1～65535：　指定のポートで受信します。

＊　アラーム受信ポート番号の指定はワークスペース内に登録されたすべてのV.NETWORKSで共通指定となります。
＊　アラーム受信を行うには、V.NETWORKS側のアラーム設定が必要です。

15-5．映像設定

ビューポイントから受信する映像に関する設定を行います。設定項目は、ビューポイントの機種によって異なります。

1 一覧表示エリアで、設定したいビューポイントまたはビューチャンネルを選択します。

2 [設定]メニューの[ビューポイント]を選択します。
「ビューポイント設定」ダイアログの[映像]タブをクリックして表示します。
[カメラのフレームレートで取得する]と[JPEG取得フレームレート[fps]]の変更は、[OK]ボタンで「ビューポイント設定」ダイアログを閉じた時点で有効になります。[MPEG-4 マルチキャスト受信]と[MPEG-4 TCPモード]の変更は、ダイアログを[OK]ボタンで閉じた後、ライブビューウィンドウを非表示にしてから再度表示させることで有効になります。

■ビューポイントがDM-NC40の場合■

[MPEG-4 マルチキャスト受信]

DM-NC40のMPEG-4チャンネルの映像をマルチキャスト受信する場合にチェックします。(DM-NC40本体の「Network Setup」の「Multicast」が「START」になった状態で使用してください。)

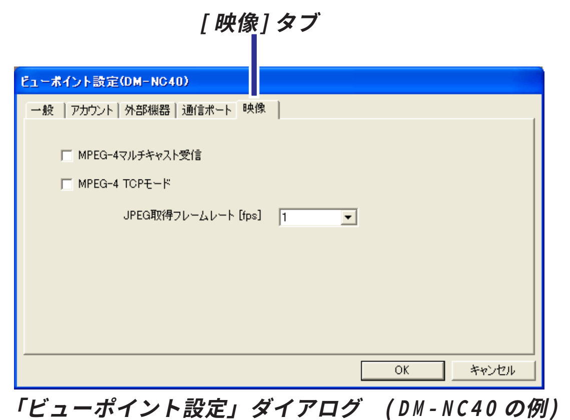
[MPEG-4 TCPモード]

音声と映像ストリームのトランスポート層をTCPに設定します。初期値(OFF)ではUDPとなります。信頼性の低いネットワークでは、TCPに設定することにより、音声と映像がなめらかに再生できることがあります。詳細についてはDM-NC40の取扱説明書を参照してください。

* 「MPEG-4 マルチキャスト受信」と「MPEG-4 TCPモード」を同時にONにすることはできません。

[JPEG取得フレームレート[fps]]

DM-NC40からJPEGチャンネルの映像を受信する場合のフレームレートを設定します。フレーム数が多いほど、動きがなめらかな映像になります。(この設定はDM-NC40に対する設定ではなく、VN-S400での画像取得のフレームレートです。)



「ビューポイント設定」ダイアログ　(DM-NC40の例)

■ビューポイントがV.NETWORKSの場合■

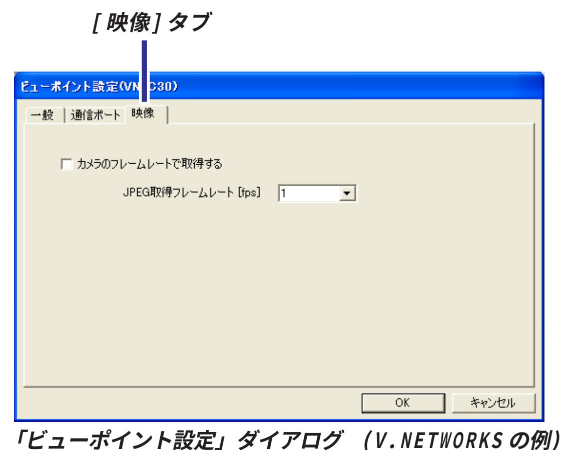
[カメラのフレームレートで取得する]

ビューポイントに設定されている映像送信フレームレートで映像を受信する場合にチェックします。ビューポイントの映像送信フレームレートの設定については「15-7.ビューポイント(V.NETWORKS)の画質設定」を参照してください。
VN-S400での画像取得のフレームレートで映像を受信する場合は、このチェックを外し、「JPEG取得フレームレート[fps]」でフレームレートを設定してください。

[JPEG取得フレームレート[fps]]

ビューポイントからJPEGチャンネルの映像を受信する場合のフレームレートを設定します。フレーム数が多いほど、動きがなめらかな映像になります。(この設定はビューポイントに対する設定ではなく、VN-S400での画像取得のフレームレートです。)

* マルチキャストの場合、V.NETWORKS本体のフレームレートよりも高い値をJPEG取得フレームレートに設定しても、実際に表示・録画されるフレームレートはV.NETWORKS本体の設定以下の値となります。



「ビューポイント設定」ダイアログ　(V.NETWORKSの例)

* 実際に表示・録画できるフレームレートは、ビューポイント側の送信能力やLAN環境、パソコンの性能などで低下する場合があります。また、カメラやエンコーダー側の設定（特に画像サイズ）を変更したときは、「フレームレート」の設定値がビューポイント側の送信能力を超えていないことをご確認ください。

15-6. ビューポイント(DM-NC40)の画質設定

ビューポイントの画質設定を変更します。ここでは、ビューポイントがDM-NC40の場合の設定について説明します。

1 一覧表示エリアで、設定したいビューポイントまたはビューチャンネルを選択します。

2 ビューポイントアイコンをダブルクリックするか、[設定]メニューの[制御]を選択します。
「ビューポイント制御」ダイアログが表示されます。

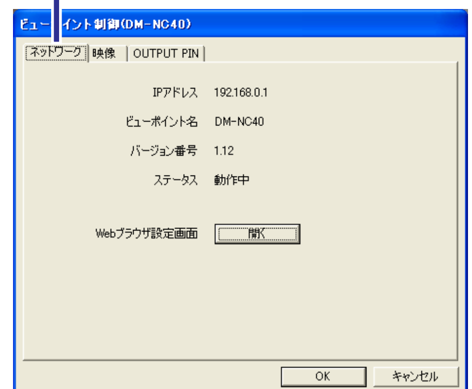
「ビューポイント制御」ダイアログは、ビューポイントの機器本体の設定値(*注)を読み込んで表示されます。
「ビューポイント制御」ダイアログで設定値を変更した場合は、変更した時点で機器本体に設定を反映します。

(*注):「OUTPUT PIN」タブの[メモ]は機器本体の設定値ではなく、ワークスペース上の設定値です。

■ネットワークタブ■

[ネットワーク]タブをクリックします。
ビューポイントの情報が表示されています。
Webブラウザ設定画面の[開く]ボタンをクリックすると、Webブラウザを起動して、DM-NC40の設定画面を表示します。この設定画面では、DM-NC40の設定値を直接変更することができます。設定画面の操作についてはDM-NC40の取扱説明書を参照してください。

[ネットワーク]タブ



「ビューポイント制御」ダイアログ

■映像タブ■

[映像]タブをクリックします。

MPEG-4チャンネルに関する設定

[INPUT1/INPUT2]
DM-NC40のMPEG-4チャンネル用入力端子を選択します。

[PinP]
DM-NC40のPinP(ピクチャー・イン・ピクチャー)設定を切り替えます。
詳細については、DM-NC40の取扱説明書を参照してください。
(DM-NC40のバージョンによっては、現在の設定が表示されません。)

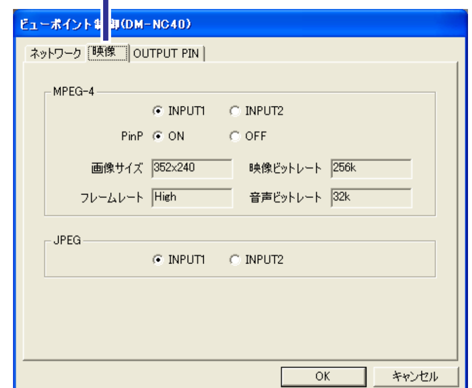
[画像サイズ]
MPEG-4チャンネルの映像サイズが表示されています。
サイズが大きいほどジャギーのない鮮明な映像になります。(この画像サイズは、送られてくる映像のサイズ設定であり、表示されるビューウィンドウのサイズではありません。)
設定の変更はWebブラウザ設定画面で行います。
*「176x120」及び「160x120」はサポート対象外です。「352x240」または「320x240」にてご使用ください。

[映像ビットレート]
MPEG-4チャンネルの映像ビットレートが表示されています。
設定の変更はWebブラウザ設定画面で行います。

[フレームレート]
MPEG-4チャンネルの映像フレームレートが表示されています。
設定の変更はWebブラウザ設定画面で行います。

[音声ビットレート]
MPEG-4チャンネルの音声ビットレートが表示されています。
設定の変更はWebブラウザ設定画面で行います。

[映像]タブ



「ビューポイント制御」ダイアログ

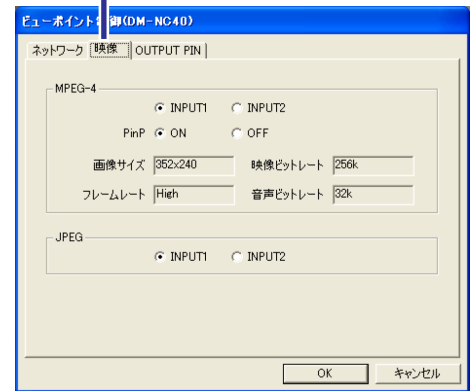
(次のページに続きます)

JPEG チャンネルに関する設定

[INPUT1/INPUT2]

DM-NC40のJPEGチャンネル用入力端子を選択します。(JPEGチャンネルが無効の場合は操作できません。)
この選択を行うとDM-NC40がリセットされます。このとき、他のビューウィンドウやクライアントとの接続がとぎれることがありますので注意してください。また、選択後にDM-NC40の動作が回復するまでの間は、他の設定を行なったりこのダイアログの[キャンセル]ボタンをクリックしたりしないでください。

[映像]タブ



「ビューポイント制御」ダイアログ

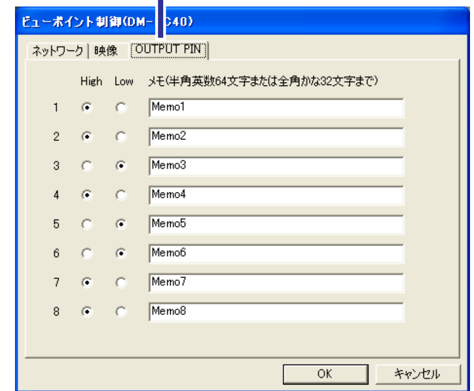
■OUTPUT PIN タブ■

[OUTPUT PIN]タブをクリックします。
DM-NC40アラーム端子の出力端子に対して、ピン番号ごとに出力信号の極性を設定します。

[High]　　High信号を出力します。
[Low]　　Low信号を出力します。

アラーム端子の詳細については、DM-NC40の取扱説明書を参照してください。

[OUTPUT PIN]タブ



「ビューポイント制御」ダイアログ

15-7．ビューポイント(V.NETWORKS)の画質設定

ビューポイントの画質設定などを変更します。ここでは、ビューポイントがVN-C1/C2/C3/C10/C30/C625/A1(V.NETWORKS)の場合の設定について説明します。表示される設定項目は、ビューポイントの種類によって異なります。

1 一覧表示エリアで、設定したいビューポイントまたはビューチャンネルを選択します。

2 ビューポイントアイコンをダブルクリックするか、[設定]メニューの[制御]を選択します。
「ビューポイント制御」ダイアログが表示されます。

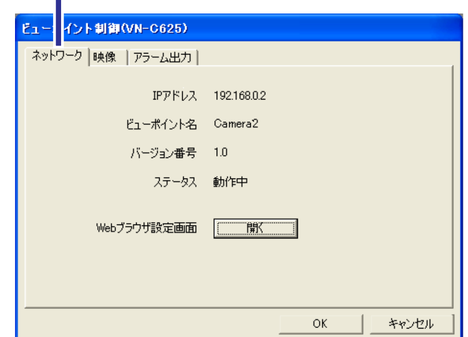
「ビューポイント制御」ダイアログは、ビューポイントの機器本体の設定値(*注)を読み込んで表示されます。
「ビューポイント制御」ダイアログで設定値を変更した場合は、変更した時点で機器本体に設定を反映します。
(*注):「アラーム出力」タブの[メモ]は機器本体の設定値ではなく、ワークスペース上の設定値です。

■ネットワークタブ■

[ネットワーク]タブをクリックします。
ビューポイントの情報が表示されています。

ビューポイントがVN-C625の場合は、Webブラウザ設定画面の[開く]ボタンをクリックするとWebブラウザを起動して、VN-C625の設定画面を表示します。この設定画面では、VN-C625の設定値を直接変更することができます。設定画面の操作についてはVN-C625の取扱説明書を参照してください。

[ネットワーク]タブ(VN-C625の例)



「ビューポイント制御」ダイアログ

■映像タブ■

[映像]タブをクリックします。

[映像モード]
JPEGかMPEG-4いずれかのモードが表示されています。

[配信モード]
ユニキャストかマルチキャストのいずれかのモードが表示されいます。

[上下反転]
チェックがされた場合は、映像を上下反転して表示します。

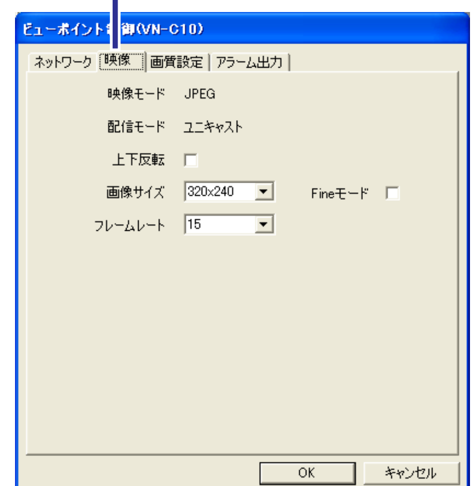
[画像サイズ]
ビューポイントから送られてくる映像のサイズを設定します。サイズが大きいほどジャギーのない鮮明な映像になります。
(この画像サイズは、送られてくる映像のサイズ設定であり、表示されるビューウィンドウのサイズではありません。)

[Fine モード]
チェックがされた場合は、Fine モードになります。Fine モードに設定すると、細かな画像まで確認できます。ただし、動きのある被写体の撮影には適しません。
* ビューポイントがVN-C625またはVN-C10 Version1.4以上のJPEGチャンネルの場合に設定できます。
* 現在の画像サイズが640x480の場合に設定できます。

[フレームレート]
ビューポイントから映像を転送する最大フレーム数を設定します。
フレーム数が多いほど、動きがなめらかな映像となります。

* 実際に表示・録画できるフレームレートは、ビューポイント側の送信能力やLAN環境、パソコンの性能などで低下する場合があります。

[映像]タブ



「ビューポイント制御」ダイアログ

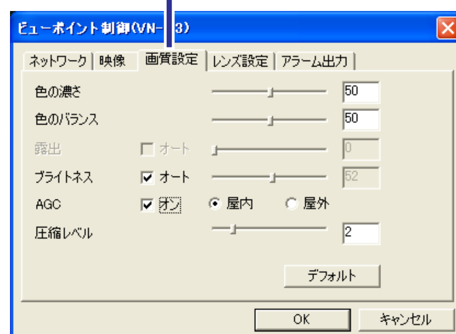
■画質設定タブ■

[画質設定]タブをクリックします。
各項目の設定に関する詳細は、V.NETWORKS の取扱説明書を参照してください。

[色の濃さ]　彩度を調整します。
[色のバランス]　ホワイトバランスを調整します。
[露出]　露出を調整します。
[ブライトネス]　明るさを調整します。
[AGC]　内蔵アンプの感度調整を行います。
[High Gain モード]　High Gain モードを切替えます。
　* ビューポイントが VN-C10 Version2.0 以上の場合に設定できます。
[圧縮レベル]　映像の圧縮レベルを設定します。数字が大きいほど圧縮率が上がります。
[ホワイトバランス]　ホワイトバランスを調整します。
[BLC]　逆光補正を行います。
[AES]　被写体の明るさに応じて自動でシャッタースピード調整を行います。
[シャッタースピード]　シャッタースピードを選択します。
[アイリス]　アイリスを調整します。

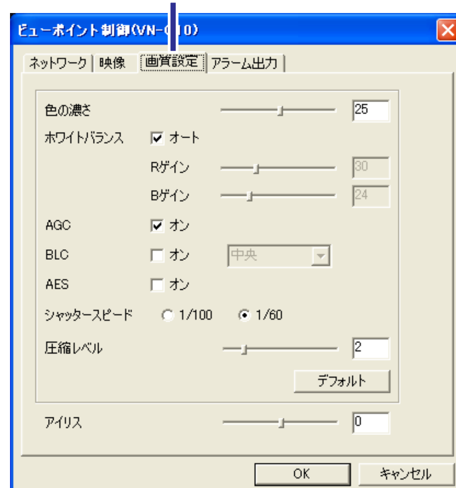
[デフォルト]をクリックすると、それぞれの値がデフォルト値に戻ります。

[画質設定]タブ(例1)



「ビューポイント制御」ダイアログ

[画質設定]タブ(例2)

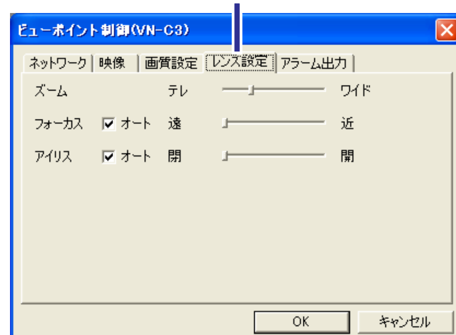


「ビューポイント制御」ダイアログ

■レンズ設定タブ■

[レンズ設定]タブをクリックします。
(VN-C3/VN-C30 の場合のみ表示されます。)
[ズーム]　ズームを調整します。
[フォーカス]　フォーカスを調整します。
[アイリス]　カメラのアイリスを調整します。

[レンズ設定]タブ



「ビューポイント制御」ダイアログ

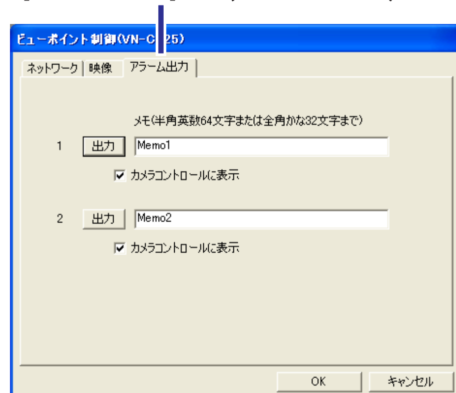
■アラーム出力タブ■

[アラーム出力]タブをクリックします。
[出力]ボタンをクリックすると、カメラ側のアラーム出力設定に従ってアラーム信号が出力されます。実際にアラーム出力端子から信号が出力されますので、十分な配慮のもとに実行してください。

ビューポイントが VN-C625 の場合は、[出力]ボタンが２つ表示されます。また、「カメラコントロールに表示」にチェックマークを付けた場合は、VN-C625 用コントローラーにアラーム出力ボタンとメモの内容を表示します。VN-C625 用コントローラー上のアラーム出力ボタンはこのタブの[出力]ボタンと同じように、アラーム出力を行うために使用することができます。
VN-C625 用コントローラーについては「5-4.VN-C625 用コントローラー」を参照してください。

*[出力]ボタンで VN-C625 からアラームを出力する場合は、VN-C625 本体の出力パターンの設定を「モーメンタム」にしてください。出力パターンを「レベル」とした場合のレベル設定には対応していません。

[アラーム出力]タブ(VN-C625 の例)



「ビューポイント制御」ダイアログ

15-8．外部機器設定

ビューポイントがVN-A1またはDM-NC40の場合は、ビューポイントに接続している外部機器の設定をします。

1 一覧表示エリアで、外部機器を設定したいビューポイントまたはビューチャンネルを選択します。

2 [設定]メニューの[ビューポイント]を選択します。
「ビューポイント設定」ダイアログが表示されます。
[外部機器]タブをクリックします。

3 設定する接続端子にチェックをします。(COM1/COM2)

4 [接続機器]から、接続機種名を選択します。

5 名前を入力します。
ここで入力した名前は、ライブコントローラーまたは再生コントローラーのビューチャンネル選択に表示されます。(外部機器の名前は、半角英数32文字または全角かな16文字までです。)

6 ビューポイントがDM-NC40の場合は、外部機器の制御権取得方法を選択します。DM-NC40では、複数のVN-S400によるシリアルポート制御の競合を回避するために、制御権の取得・開放を行なっています。これによって制御権を取得しているVN-S400だけがDM-NC40のシリアルポートに接続された外部機器を制御することができます。
ここでは、制御権の取得・開放の方法を選択します。

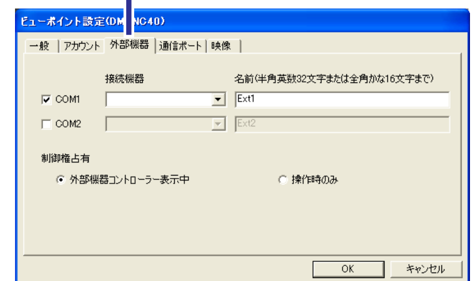
[外部機器コントローラー表示中]
外部機器コントローラーを表示したときにDM-NC40のシリアルポートに接続された外部機器の制御権を取得し、外部機器コントローラーを非表示にしたときにその制御権を開放します。外部機器コントローラーを表示している間は制御権を保持しつづけるため、他のVN-S400に制御権を奪われることなく確実に制御することができます。

[操作時のみ]
外部機器コントローラーのボタンをクリックするなど操作をしたときにDM-NC40のシリアルポートに接続された外部機器の制御権を取得します。この制御権は操作終了から約5秒後に自動的に開放されます。

外部機器コントローラーを操作しようとしたときにすでに他のVN-S400が制御権を取得していると、「Occupied by other client.」や「通信エラー」というメッセージが表示されます。この場合は、しばらく待ってから再度操作をしてください。他のVN-S400が制御権を開放していればメッセージは表示されず、外部機器の制御が可能になります。

＊外部機器の制御権取得方法を変更した場合は、外部機器コントローラーを一度非表示にしてから再度表示することにより、新しい設定が有効になります。

[外部機器]タブ



「ビューポイント設定」ダイアログ



16．優先更新モード

VN-S400は、接続数の増加などの理由でCPUの負荷が100%を超えると、安定的な動作が困難となります。そのためVN-S400では、CPUの負荷を監視して100%を超えないようにフレームレートの低減などの方法により負荷を制御します。「優先更新モード」は負荷を制御するときのビューウィンドウ単位の優先付けを行うモードです。

優先更新モードを有効にするには、[設定]メニューの[優先更新モード]をクリックします。優先更新モードが有効である場合は、メニューの表示にチェックマークが表示されています。
優先更新モードの解除は、[設定]メニューの[優先更新モード]を再度クリックします。

[設定]メニュー

設定(S)　ウィンドウ(W)　ヘルプ(H)

- ビューウィンドウ(V)...
- ビューポイント(P)...
- 制御(C)...
- すべてのビューの音をミックス(M)
- ✓ 優先更新モード(W)
- オプション(O)...
- 排他登録モード(E)
- プロテクトモード(R)

■優先更新モードが有効な場合■

アクティブなビューウィンドウの映像または録画中のビューウィンドウの映像が設定どおりのフレームレートを確保できるように、他のビューウィンドウのフレームレートを低減させます。フレームレートの確保を優先させるビューウィンドウは、「オプション設定」ダイアログの[制御]タブで選択します。
JPEGチャンネルのライブビューウィンドウでは、画像取得フレームレートを低減させることによって負荷を抑えます。MPEG-4チャンネルのライブビューウィンドウでは、一部のフレームのみをデコードすることによって負荷を抑えます。

■優先更新モードが解除されている場合■

CPU負荷が100%を超えないように、すべてのJPEGチャンネルのライブビューウィンドウのフレームレートを均一に低減します。MPEG-4チャンネルのライブビューウィンドウでは、負荷低減を行いません。

＊ 優先更新モードが有効であっても、全体の負荷によりフレームレートが低減することがあります。



17．ビューウィンドウを整列させる

ここでは、登録されているビューウィンドウを整列する方法を説明します。

17-1．ビューウィンドウの整列パターン登録

ビューウィンドウの表示サイズと位置を登録しておくことができます。
20 パターンの登録が可能です。

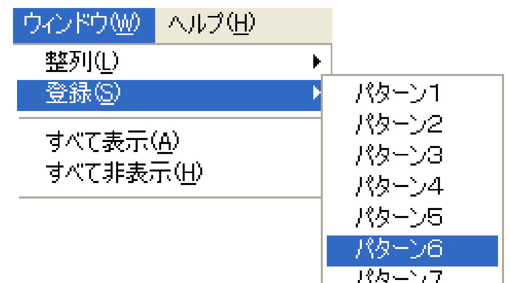
1 ビューウィンドウの位置・表示サイズを調整します。

2 [ウィンドウ]メニューの[登録]を選択し、[パターン1]～[パターン20]のうちで登録しておきたいパターン番号をクリックします。

3 一度登録した整列パターンを変更したい場合は、ビューウィンドウの位置とサイズを再調整して、上記の手順で登録し直したいパターン番号を選択します。

*　整列パターン登録後にライブビューウィンドウを追加した場合は、再度パターン登録を行うようにしてください。

[ウィンドウ]メニュー



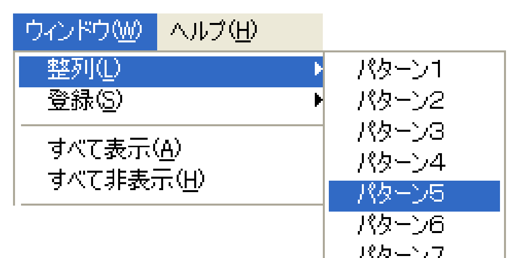
登録したいパターン番号を選択

17-2．登録したパターンで表示

登録した整列パターンでビューウィンドウを表示させることができます。

[ウィンドウ]メニューの[整列]メニューをクリックして、[パターン1]～[パターン20]の整列パターンから選択します。
ビューウィンドウが登録パターンで表示されます。

[ウィンドウ]メニュー



整列パターンを選択

17-3．ビューウィンドウの表示 / 非表示

■登録されているビューウィンドウをすべて表示 / 非表示します■

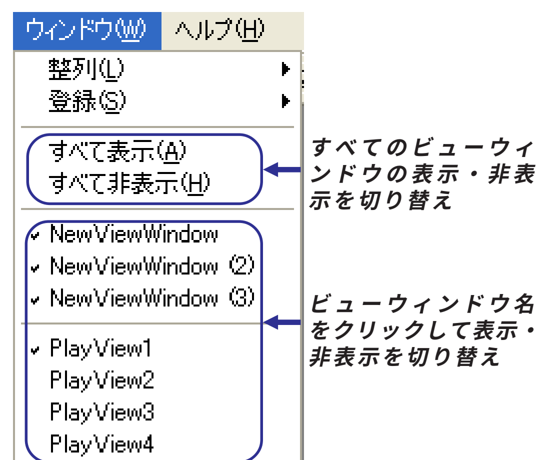
すべてのビューウィンドウを表示するには、[ウィンドウ]メニューの[すべて表示]をクリックします。
すべてのビューウィンドウを非表示にするには、[ウィンドウ]メニューの[すべて非表示]をクリックします。

■任意のビューウィンドウを表示 / 非表示します■

- ビューウィンドウ上で右クリックして、メニューから[表示]または[非表示]を選択します。
- 一覧表示エリアのビューウィンドウアイコンを右クリックして、メニューから[表示]または[非表示]を選択します。

[ウィンドウ]メニューから、表示 / 非表示したいビューウィンドウ名をクリックします。チェックマークが付いている状態が[表示]状態、チェックマークが付いていない状態が[非表示]状態です。[表示]に切り替えた場合は、同時にそのビューウィンドウがアクティブになります。

[ウィンドウ]メニュー





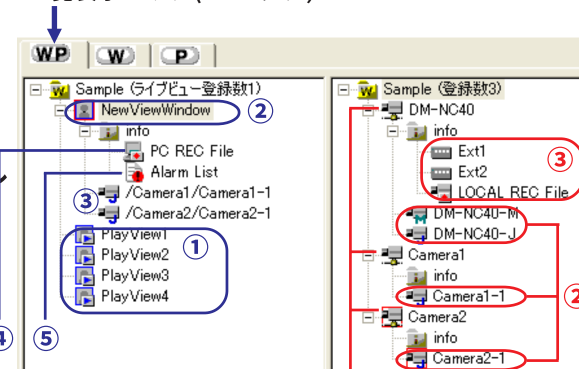
18．一覧表示エリアの操作

一覧表示エリアには、ビューウィンドウ・ビューポイント・ビューチャンネルの登録状況が表示されています。操作の目的に応じて、「ＷＰタブ」「Ｗタブ」「Ｐタブ」を切り替えます。
オプション設定で一覧表示レイアウトを変更すると、一覧表示エリアの表示位置が変わりますが、表示される内容は同じです。ここでは、横に並べて表示した場合の一覧表示エリアを例に説明します。

18-1．ライブビューウィンドウに映像を表示する

ＷＰタブを表示します。

一覧表示エリア(ＷＰタブ)



左側エリアには次の情報が表示されています。
①4 つの再生ビューウィンドウ
②登録されたライブビューウィンドウ
③ライブビューウィンドウに割り当てられたビューチャンネル
④PC REC File アイコン(録画された映像ファイルの情報)
⑤Alarm List アイコン(アラーム受信の情報)

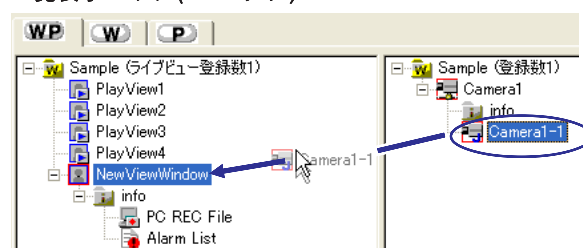
右側エリアには次の情報が表示されています。
①登録されたビューポイント
②ビューチャンネル
（ は JPEG チャンネル / は MPEG-4 チャンネル）
③ビューポイントごとの情報
[ビューポイントに接続された外部機器]
[LOCAL REC File (ビューポイントの機器に記録されたファイルの情報)]

1 右側エリアで、表示したいビューチャンネルをクリックして選択します。

2 選択したビューチャンネルを、左側エリアのライブビューウィンドウアイコン上にドラッグ＆ドロップします。

3 左側エリアのライブビューウィンドウアイコンの下にチャンネルが追加されます。

一覧表示エリア(ＷＰタブ)



ビューチャンネルをドラッグ

同様の手順で、1 つのライブビューウィンドウに合計 16 チャンネルまで登録できます。

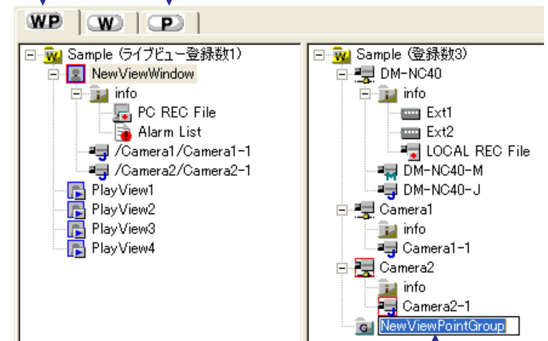
* 1 つのライブビューウィンドウ内に同じビューチャンネルを重複して登録することはできません。
* 1 つのライブビューウィンドウにＪＰＥＧチャンネルとＭＰＥＧ-４チャンネルを混在して登録することはできません。
* 1 つのライブビューウィンドウに 2 つ以上のＭＰＥＧ-４チャンネルを登録することはできません。
* 1 つのＭＰＥＧ-４チャンネルを複数のライブビューウィンドウに登録することはできません。

18-2．ビューポイントグループを作成

WPタブまたはPタブを表示します。
ビューポイントグループフォルダを作成して、登録ビューポイントを整理する機能です。

1 [挿入]メニューの[ビューポイントグループ]を選択します。

一覧表示エリア(WPタブまたはPタブ)

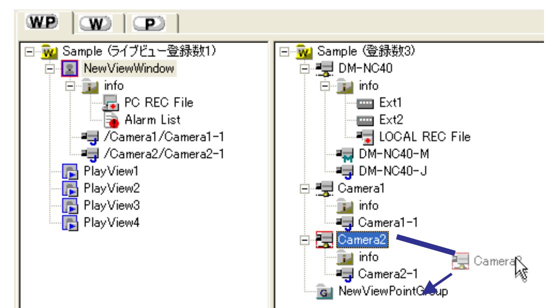


新しいビューポイントグループ

2 一覧表示エリアの右側エリアに新しいビューポイントグループフォルダが作成されました。
ビューポイントグループ名を入力します。(ビューポイントグループ名は、半角英数32文字または全角かな16文字までです。)

ビューポイントグループの名前を変更する場合は、ビューポイントグループフォルダの右クリックメニューから[名前の変更]を選択してください。

3 ビューポイントアイコンをビューポイントグループアイコン上にドラッグ＆ドロップして移動します。
ビューポイントがビューポイントグループ内に含まれます。



ビューポイントをドラッグ

18-3．　PC録画ファイルの再生

再生するPC録画ファイルの選択は、一覧表示エリアで行います。
操作方法は「8-1 PC録画ファイルの再生」を参照してください。

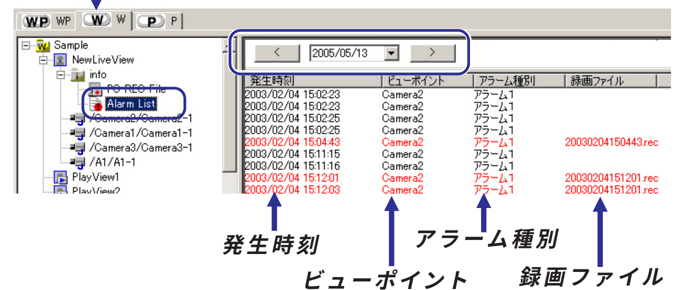
18-4．ローカル録画ファイルの再生

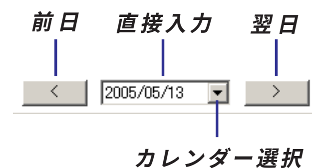
再生するローカル録画ファイルの選択は、一覧表示エリアで行います。
操作方法は「8-2 ローカル録画ファイルの再生」を参照してください。

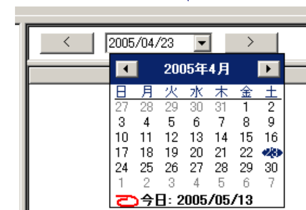
18-5．アラームリストの表示

Wタブを表示します。(Alarm List アイコンをダブルクリックしてもWタブ表示に切り替わります。)
左側エリアには、登録ビューウィンドウの状況が表示されています。

一覧表示エリア(Wタブ)







1 左側のエリアで、アラームリストを表示したいライブビューウィンドウの下にある[Alarm List]アイコンをクリックします。

2 右側のエリアに詳細が1日分表示されます。表示する日付は次の方法で変更できます。

■ 直接入力
日付表示部分に直接入力します。カレンダー選択日付の右にある下矢印ボタンをクリックすると、カレンダーが表示されます。表示したい日付をクリックします。

■ 前日
左矢印ボタンをクリックすると前日のリストを表示します。前日にアラーム記録がなければ、アラーム記録のある日付まで検索します。最大1年検索したところで停止します。

■ 翌日
右矢印ボタンをクリックすると翌日のリストを表示します。翌日にアラーム記録がなければ、アラーム記録のある日付まで検索します。最大1年検索したところで停止します。

アラームの発生時刻 / ビューポイント名 / アラーム種別が表示されます。また、録画ファイルがある場合はすべてを赤で表示し、ファイル名も表示します。

3 アラームリストは、表示項目部分をクリックするとその項目で並べ替えることができます。アラーム数が多い場合は、並べ替え処理の間、VN-S400 での録画開始や停止の処理が遅れることがありますので、ご注意ください。

4 録画ファイルが存在する場合(録画ファイルの項目にファイル名が表示されている場合) は、ダブルクリックすると再生ウィンドウに映像が表示されます。(アラーム発生時刻でのポーズ状態)

18-6．登録したアイテムを削除

登録したライブビューウィンドウやビューポイントをはじめとする次のアイテムを削除することができます。

■ライブビューウィンドウの削除■

一覧表示エリアのライブビューウィンドウアイコンを選択して[Delete]キーを押すか、アイコンを右クリックして[削除]を選択します。削除の確認メッセージが表示されますので、[OK]をクリックしてください。

■ビューポイントの削除■

一覧表示エリアのビューポイントアイコンを選択して[Delete]キーを押すか、アイコンを右クリックして[削除]を選択します。削除の確認メッセージが表示されますので、[OK]をクリックしてください。
ライブビューウィンドウに登録されているビューポイントは削除できません。

■ビューポイントグループの削除■

一覧表示エリアのビューポイントグループアイコンを選択して[Delete]キーを押すか、アイコンを右クリックして[削除]を選択します。削除の確認メッセージが表示されますので、[OK]をクリックしてください。ビューポイントグループを削除する場合には、ビューポイントグループに含まれているビューポイントもすべて削除されます。ただし、ライブビューウィンドウに登録されているビューポイントは削除されません。

■ビューチャンネルの登録を削除■

一覧表示エリアの[WP]タブ左側エリアまたは[W]タブでビューチャンネルアイコンを選択して[Delete]キーを押すか、アイコンを右クリックして[削除]を選択します。確認メッセージが表示されますので、[OK]をクリックしてください。

■録画ファイルの登録を削除■

一覧表示エリアの再生ファイルアイコンを選択して[Delete]キーを押すか、アイコンを右クリックして[ファイルを閉じる]を選択します。確認メッセージが表示されますので、[OK]をクリックしてください。



19．右クリックメニューとショートカットキー

19-1．ビューウィンドウ上で右クリック

ライブビューウィンドウ上で右クリック(ビューポイントの種類によって、使用できない項目があります。)

拡大	ライブビューウィンドウを1段階(320x240または640x480)拡大します。
縮小	ライブビューウィンドウを1段階(320x240または160x120)縮小します。
非表示	ライブビューウィンドウを非表示にします。
シーケンシャル表示一時停止	シーケンシャル表示中の開始/停止を切り替えます。
ズームイン	ズームインします。
ズームアウト	ズームアウトします。
タイムスタンプ表示	タイムスタンプの表示/非表示を切り替えます。
動き検出表示	動き検出格子・検出設定エリア・動き検出エリアの表示/非表示を切り替えます。
ライブビューウィンドウ設定	「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログを表示します。
ビューポイント設定	「ビューポイント設定」ダイアログを表示します。
ビューポイント制御	「ビューポイント制御」ダイアログを表示します。

再生ビューウィンドウ上で右クリック(ビューポイントの種類によって、使用できない項目があります。)

拡大	再生ビューウィンドウを1段階(320x240または640x480)拡大します。
縮小	再生ビューウィンドウを1段階(320x240または160x120)縮小します。
非表示	再生ビューウィンドウを非表示にします。
ファイルを開く	「ファイルを開く」ダイアログを表示します。
ファイルを閉じる	表示中のファイルを閉じます。
タイムスタンプ表示	タイムスタンプの表示/非表示を切り替えます。
動き検出表示	動き検出格子・検出設定エリア・動き検出エリアの表示/非表示を切り替えます。
再生ビューウィンドウ設定	「再生ビューウィンドウ設定」ダイアログを表示します。

19-2．一覧表示エリアの各アイコンを右クリック

■WPタブの左側エリアまたはWタブ■

ワークスペースアイコンを右クリック

新規ライブビューウィンドウ	新規ライブビューウィンドウを作成します。
オプション設定	「オプション設定」ダイアログを表示します。

ライブビューウィンドウアイコンを右クリック

削除	ライブビューウィンドウを削除します。
名前の変更	ライブビューウィンドウの名前を変更します。(半角英数32文字または全角かな16文字まで)
表示	ライブビューウィンドウの表示/非表示を切り替えます。
ライブビューウィンドウ設定	「ライブビューウィンドウ設定」ダイアログを表示します。

再生ビューウィンドウアイコンを右クリック

名前の変更	再生ビューウィンドウの名前を変更します。(半角英数32文字または全角かな16文字まで)
ファイルを開く	「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。
表示	再生ビューウィンドウの表示/非表示を切り替えます。
再生ビューウィンドウ設定	「再生ビューウィンドウ設定」ダイアログを表示します。

ビューチャンネルアイコンを右クリック

削除	ビューチャンネルを削除します。
ビューポイント設定	「ビューポイント設定」ダイアログを表示します。
ビューポイント制御	「ビューポイント制御」ダイアログを表示します。

PC REC File アイコンを右クリック

リスト更新	一覧表示エリアで表示する PC 録画ファイルのリストを更新します。
ファイルを開く	「ファイルを開く」ダイアログを表示します。

Alarm List アイコンを右クリック

リスト更新	一覧表示エリアで表示するアラームリストを更新します。
すべて削除	すべてのアラーム受信記録を削除します。
1 日前以前を削除	1 日前以前のアラーム受信記録を削除します。
7 日前以前を削除	7 日前以前のアラーム受信記録を削除します。
31 日前以前を削除	31 日前以前のアラーム受信記録を削除します。

■ＷＰタブの右側エリアまたはＰタブ■

ワークスペースアイコンを右クリック

新規グループ	ワークスペース直下に新しいビューポイントグループを作成します。
新規ビューポイント	「ビューポイントの新規登録」ダイアログを表示します。
オプション設定	「オプション設定」ダイアログを表示します。
IP アドレス表示	ビューポイントアイコンとライブビューウィンドウの IP アドレスの表示 / 非表示を切り替えます。（録画中に IP アドレスの表示 / 非表示を切り替えると、再生時には別のビューチャンネルとして扱われます。）

ビューポイントグループアイコンを右クリック

削除	ビューポイントグループとそこに含まれるビューポイントを削除します。
名前の変更	ビューポイントグループの名前を変更します。(半角英数 32 文字または全角かな 16 文字まで)
新規グループ	ビューポイントグループの下に、さらに新しいビューポイントグループを作成します。
新規ビューポイント	「ビューポイントの新規登録」ダイアログを表示します。

ビューポイントアイコンを右クリック

削除	ビューポイントを削除します。
名前の変更	ビューポイントの名前を変更します。(半角英数 32 文字または全角かな 16 文字まで)
ビューポイント設定	「ビューポイント設定」ダイアログを表示します。
ビューポイント制御	「ビューポイント制御」ダイアログを表示します。

ビューチャンネルアイコンを右クリック

名前の変更	ビューチャンネルの名前を変更します。(半角英数 32 文字または全角かな 16 文字まで) (録画中にビューチャンネル名を変更すると、再生時には別のビューチャンネルとして扱われます。)
ビューポイント設定	「ビューポイント設定」ダイアログを表示します。
ビューポイント制御	「ビューポイント制御」ダイアログを表示します。

外部機器アイコンを右クリック

名前の変更	外部機器の名前を変更します。(半角英数 32 文字または全角かな 16 文字まで)
ビューポイント設定	「ビューポイント設定」ダイアログを表示します。
ビューポイント制御	「ビューポイント制御」ダイアログを表示します。

19-3. ショートカットキー

VN-S400 では、次のショートカットキーが有効です。

Ctrl + O	「ファイルを開く」ダイアログを表示します。ワークスペースを開くときに使用します。
Ctrl + S	ワークスペースを上書き保存します。
Ctrl + M	「ビューポイントの新規登録」ダイアログを表示します。
Ctrl + N	「ライブビューウィンドウの新規登録」ダイアログを表示します。
F2	一覧表示エリアでアイコンを選択してから[F2]キーを押すと、名前を変更することができます。 次のアイコンに対して有効です。 ・ライブビューウィンドウアイコン ・再生ビューウィンドウアイコン ・ビューポイントアイコン ・ビューポイントグループアイコン ・ビューチャンネルアイコン(ＷＰタブの右側エリアまたはＰタブ) ・外部機器アイコン



20．ワークスペースの保存と終了

20-1．ワークスペースの保存と終了

ワークスペースでの作業内容を保存する場合には、[ファイル]メニューの[ワークスペースの上書き保存]を選択します。ライブビューウィンドウの登録やビューポイントの登録をはじめとする、すべての登録内容が保存されます。
ワークスペースを終了する場合は、[ファイル]メニューの[ワークスペースを閉じる]を選択してください。

20-2．保存したワークスペースを開く

ワークスペースを開くには、[ファイル]メニューの[ワークスペースを開く]を選択してください。
ファイルを開くダイアログが表示されますので、ワークスペースを保存した場所からワークスペースファイル(*.vxw)を選択して、[開く]をクリックします。

20-3．起動オプションの設定

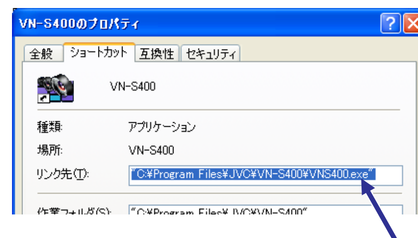
ワークスペースの内容が変更された状態でVN-S400を終了しようとした場合、ワークスペースの保存を確認するダイアログが表示され、保存する / しないを選択できますが、次のように設定すると保存を確認するダイアログを表示せずに変更内容を保存または保存せずにVN-S400を終了することができます。
設定には2種類の方法があります。(Windows XPの場合の例)

(1) ショートカットアイコンに設定する方法

VN-S400のショートカットアイコンを右クリックして[プロパティ]を選択し、[ショートカット]タブの「リンク先」に次のように追加します。

* ワークスペースの変更内容を保存して終了させる場合
  "C:\Program Files\JVC\VN-S400\VNS400.exe" /S
* ワークスペースの変更内容を保存せずに終了させる場合
  "C:\Program Files\JVC\VN-S400\VNS400.exe" /-S

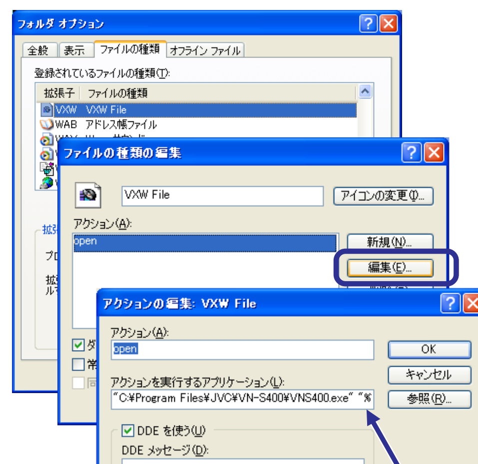
「VN-S400のプロパティ」ダイアログ



(2) ワークスペース(.vxw)からの関連付け起動に設定する方法

エクスプローラの[ツール]メニューから[フォルダオプション]を選択し、[ファイルの種類]タブを表示させます。「登録されているファイルの種類」の一覧からVXW(VXW File)を選択して、[詳細設定]をクリックします。
「アクション」の一覧で[open]を選択し、[編集]をクリックします。
「アクションを実行するアプリケーション」に次のように追加します。

* ワークスペースの変更内容を保存して終了させる場合
  "C:\Program Files\JVC\VN-S400\VNS400.exe" "%1" /S
* ワークスペースの変更内容を保存せずに終了させる場合
  "C:\Program Files\JVC\VN-S400\VNS400.exe" "%1" /-S





21．VN-S400 操作上のご注意

VN-S400 を快適にお使いいただくために、以下の事項に注意して使用してください。

VN-S400 操作による CPU 負荷について

アラームリストの更新・再生ビューウインドウの複数表示・大量の録画ファイルの削除など、CPU 負荷の高い処理を行うと、そのときに録画した映像のフレームレートが低下する場合があります。常に、CPU 使用率が 80 %以下になることを目安に、表示ウィンドウ数や表示サイズ・フレームレートを調整してご使用ください。

録画についての注意

MPEG-4 チャンネルのライブビューウィンドウを非表示の状態で録画開始した場合、実際の録画までに数秒かかります。特に、アラーム録画する場合は、確実に映像を録画できるように、ライブビューウィンドウを表示状態にしておくことをお勧めします。

複数の VN-S400 を運用する場合の注意

MPEG-4 チャンネルの映像を録画中に、録画している VN-S400 以外でビューポイントの画像サイズを変更すると、録画が停止します。録画中は、録画している VN-S400 以外のアプリケーションから画像サイズを変更しないようにしてください。

DM-NC40 を使用する場合の注意

DM-NC40 の映像を表示している場合、Web ブラウザで DM-NC40 の設定を変更すると表示が停止します。ビューイング中や録画中は DM-NC40 の設定を変更しないようにしてください。

ビューポイントのパスワードを変更する場合の注意

ビューポイントと接続中に、ビューポイント本体のパスワードをセットアップツール(V.NETWORKS の場合)や、Web ブラウザ設定画面(V.NETWORKS または DM-NC40 の場合)を使用して変更すると、VN-S400 が正常に動作しません。ビューポイントと接続中は、ビューポイント本体のパスワードを変更しないでください。ビューポイント本体のパスワードを変更する場合は、VN-S400 を終了するか、ワークスペースを閉じた状態で行なってください。

未接続のビューポイントについて

ワークスペースに未接続のビューポイントを多数登録している場合は、VN-S400 が正常に動作しないことがあります。

録画ファイルの保存先ドライブと録画ファイルの保存期間について

- 録画ファイルの保存先ドライブには、OS のシステム領域とは別のドライブを使用することを推奨します。また、そのドライブのファイルシステムには NTFS を推奨します。FAT/FAT32 を使用すると、１フォルダあたりのファイル数制限によって録画できなくなる場合があります。

- 長期間にわたって録画運用する場合は、定期的にドライブを最適化(デフラグ)することをお勧めします。また、フラグメントの影響を少なくするために、「12-5．録画ファイルの自動削除設定」を参照してディスクの空き容量を確保しながら運用することを推奨します。

次のページに続きます

ファイル再生についての注意事項

再生ビューウィンドウで、ファイルが開いた状態になっていると、そのファイルが自動削除の対象になったとき、ファイルが開いた状態になっているファイルも含めて、そのフォルダにあるすべてのファイルが自動削除できなくなります。ファイルを再生した後は、再生ビューウィンドウの右クリックメニューから「ファイルを閉じる」の操作を行なってください。

一覧表示についての注意事項

録画ファイルの保存先にアラームログや録画ファイルが大量にある場合、一覧表示のアラームリストやPC録画ファイルリストを表示したときに、アラーム録画やタイマー録画の開始が遅れる場合があります。
特にアラーム録画を行なっていて、録画の重要度が高い時間帯では、アラームリストやPC録画ファイルリストを表示しないようにご注意ください。

索引

P

R

S

T

V

W

お客様ご相談センター



0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAX などからのご利用は

電話　(045)450-8950　[代表]

FAX　(045)450-2275

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

日本ビクター株式会社

プロシステムカンパニー

〒192-8620　東京都八王子市石川町2969-2　　電話(0426)　60-7203

LST0241-001B (V4.1)